

令和5年度
事業報告

社会福祉法人祥風会
理事長 羽鳥 圭一

<目次>

白色

サポートセンター P1~5

青色

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業
P6

ピンク色

特別養護老人ホーム飛羽ノ園 P7~15
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ P16~18
飛羽ノ園デイサービスセンター P19~22
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所 P23~24
土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園 P25~26

緑色

特別養護老人ホーム憩いの里 P27~37
デイサービス憩いの里 P38~41
支援センター憩いの里 P42~43
土浦市在宅介護支援センター憩いの里 P44

黄色

桜川保育園 P45~50

令和 5 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 祥風会

サポートセンター

理事長 羽鳥 圭一

センター長 村山 直希

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階
T E L 029-896-3520
F A X 029-896-3522
U R L <https://showfukai.com>
E-Mail info@showfukai.com

サポートセンター

1. 法人事業活動状況

①施設関連

まず施設行事については、各施設ともに施設行事に参加される家族の人数制限を緩和した。これにより、入居者や在園児、その家族には施設行事をより一層楽しんでもらうことができ、また行事開催後も施設内で感染症が流行することもなく過ごすことができたため、昨年度から大きく前進した一年となった。

次に、高齢者施設での面会については、これまでのコロナウイルス感染症への対策や5月からのコロナウイルス感染症の取扱いの変更(2類から5類への変更)などを踏まえて検討した結果、場所や時間、面会人数の一定の制限はあるものの予約制による直接面会を開始した。直接面会の開始後も施設内で感染症が流行することはなく過ごすことができ、当たり前前の日常へまた一歩近づくことができた。

桜川保育園では、高齢者施設との交流が広がり、飛羽ノ園及び憩いの里のデイサービス利用者が保育園に赴いて園児に卒園プレゼントを渡し、園児がお返しに歌を披露した。園児にとっても、デイサービス利用者にとっても、貴重な経験となり、今後も継続していきたい。

これらの施設行事や日常の様子などは、HPやSNSを通じて配信し、家族をはじめ、同業種の方々や求職者など様々な方に施設の活動が伝わるよう心掛けた。

【飛羽ノ園】

落雷により故障した自動火災報知設備を新調し、火災発生時の通報システムが改善した。また、厨房の排水設備の調査のため古い外階段を撤去し、調査後に新調した。なお、施設の老朽化による不具合は今後も予想されるため、計画外の修繕の発生に備える必要がある。また地域密着型「とわ」は開設して10年以上が経過し、設備に不具合が出てきているため注意が必要である。

【憩いの里】

見送られていた屋根の修繕を行い、入居者の不便や心配を解消できた。また、厨房の換気設備の不具合により屋上ファンの取替え工事を行った。

【桜川保育園】

大きな問題もなく順調に推移している。来年度は開園5年目を迎えるため、節目に相応しい施設行事の開催を目標とするとともに、令和7年4月に開園を控えている(仮称)霞ヶ岡保育園の準備への協力も必要になるため、例年以上に業務が増えることが予想される。業務が増えるだけで終わらぬよう、これまでの業務の見直しを一緒に行い、適切な業務量の調整を視野に入れた取組が必須である。

【茨城県および土浦市の一般検査の実施及び結果】

<法人>令和6年2月9日(実地検査)

- ① 法人の所有する社会福祉法人事業の用に供する不動産は、すべて基本財産として定款に記載すること。
- ② 定款に定める監事の員数について、社会福祉法第44条第3項の規定に準ずること。

<特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ>令和6年2月14日(実地検査)

おおむね市の条例に定める運営及び報酬等の基準に沿った運営がされていると認められた。

なお、口頭で指摘した事項については、今後改善を図ること。

<飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所>令和6年2月14日(実地検査)

おおむね市の条例に定める運営及び報酬等の基準に沿った運営がされていると認められた。

<特別養護老人ホーム憩いの里>令和6年1月15日(実地検査)

- ① 入所検討委員会には、構成員として介護職員の代表者を参加させること。
- ② 事故防止の措置を適切に実施するための事故防止・安全対策担当者については、辞令等により任命するか又は要項等に定めるなどにより明確にしておくこと。

<桜川保育園>令和6年1月15日(書面検査)

- ① 決算において、当期末支払資金残高が委託費収入の30%を超えていることが認められた。「子ども・子育て支援法附則第6条の規定による私立保育所に対する委託費の経理等について」(平成27年9月3日内閣府、厚生労働省通知)に基づき、委託費の運用を適切に行うこと。

2. 重点目標に対する成果

①法人理念の浸透と実行

法人理念を広く浸透させるため、例年通り新入職員研修の冒頭に理念研修を置いて研修を行った。各職員が理念を意識しながら日々行動できるような環境作りについては、具体的な環境づくりには至らなかったが、人事考課制度の見直しと役職者に求める職務の明確化を図り、環境づくりに繋がるよう計画していく。

②感染症・災害への対応強化

感染症及び災害に関する業務継続計画(BCP)については、策定猶予期限前に各施設ともに策定が完了し、令和6年度からはBCPに基づいた研修や訓練を行うことで有事の際でも事業が継続できるように取り組んでいく。

③入居待機者の確保に向けた取り組み

入居者及び入居待機者の確保に関しては、常磐線沿線や TX 沿線への営業範囲拡大を計画していたが実際に営業を行うことはなかった。しかしながら、次年度より土浦管内を運行する路線バスとコミュニティバスの車内広告を開始するための準備は完了し、令和6年4月から路線バス10台とコミュニティバス3台で広告掲載が開始される。

オンライン実調については、要望がなかったため実施には至らなかったが、Zoom などの WEB 会議システムを利用することでいつでも可能な状態である。今後、実際に活用することで有用性や課題が見えてくると思われる。

④中間管理職層の基準の明確化と育成強化

生活相談員、主任、副主任等、次の時代を担う中間管理職層の職務の明確化とそれに伴う指導については、まず役職者を中心にアンケートを行い、現時点での意識調査を行った。今後は、その結果を踏まえて職務の明確化、人事考課の見直し、人事の見直し等を行い、中間管理職層の意識改革、育成により職員の質の向上に繋げていきたい。

⑤採用活動の強化

昨年度に引き続き、近隣の高等学校より職場体験の希望者を紹介いただき見学会を開催することができ、今後も同高等学校においては介護施設を紹介する際に思い出し頂ける施設となれるよう関係を保っていききたい。なお、この職場見学を体験した学生からも就職希望を頂くことができ、令和6年4月採用となった。

また、求職者の情報収集の一つとして SNS は当たり前のツールであるため、継続して施設の情報を発信する一方でマンネリ化させないよう表現方法にも変化を持たせ惹きつける広報活動が必要と考える。

採用については、23名を新規採用し、そのうち10名が人材紹介等の有料求人媒体を利用したが、下半期は基本的に有料求人媒体の利用を中止し、ハローワークや職員紹介などを通しての採用にシフトし、同時に職員が集まる組織の在り方を見直した。

⑥働き方改革関連法や福利厚生整備

福利厚生においては、まず年5日の有給休暇取得率が昨年同様に 100%となり、また時間外労働についても法人平均月 1 時間程度に留まり、引き続き個々のワークライフバランスを実現するには良い環境であると考えている。

【総括】

飛羽ノ園及び憩いの里では、コロナウイルス等の感染症予防に留意しながら施設の三大自然である、納涼祭、敬老祝賀会、クリスマス会を開催したが、家族の参加人数の緩和や一緒に過ごす時間の延長など、入居者にも家族にもゆっくりと楽しんで頂ける形で開催することができた。また、両施設ともに場所や時間は限定されるが、直接面会が可能となり、多くの家族が利用され、施設に活気が戻りつつあると感じた一年であった。尚、このような対応にした後も施設内でコロナウイルス等の感染症で事業を閉鎖、縮小することはなかった。

桜川保育園でもコロナウイルス等の感染症予防に留意しながら施設行事を開催した。子どもたちは季節感のある行事や日本の伝統行事の体験を通して日本の文化を知ることができ、家族にはできるだけ多くの行事に参加する機会を設けて、子どもたちの成長の様子を見ていただくとともに時には子どもたちと一緒に楽しんでいただくことができた。また、飛羽ノ園や憩いの里の利用者と直接触れ合う機会を設けることができ、子どもたちには自身の祖父母よりもさらに上の世代と交流する経験を得られた。

2. 事業内容

* 祥風会設立認可・・・平成元年6月26日

* 創立登記・・・平成元年6月27日

* 理事長 羽鳥圭一 就任年月日・・・平成21年8月10日

* 土浦市小松1-3-33ハトリビル6階(平成24年12月に移転)

* 介護職員初任者研修事業開始年月日(平成26年4月1日)平成26年2月14日指定(指定番号45)

* 実務者研修事業開始年月日(平成30年6月1日)

事業所名		所在地	事業開始年月日	指定日・認可日	事業所番号
飛羽ノ園	特別養護老人ホーム飛羽ノ園	茨城県土浦市 小松3-18-18	平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ		平成24年4月1日	平成24年4月1日	0890300106
	短期入所生活介護支援事業所		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300241
	飛羽ノ園デイサービス		平成3年5月31日	平成12年3月10日	0870300431
	土浦市在宅介護支援センター		平成6年8月17日		
	飛羽ノ園居宅介護支援事業所		平成11年11月30日	平成11年11月30日	0870300175
憩いの里	特別養護老人ホーム憩いの里	茨城県土浦市 高岡2315	平成17年9月25日 平成26年4月1日(増床20床)	平成17年9月25日	0873900765
	短期入所生活介護支援事業所		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900765
	デイサービス憩いの里		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900740
	土浦市在宅介護支援センター		平成19年4月1日		
	支援センター憩いの里 (居宅介護支援事業所)		平成17年9月25日	平成17年9月25日	0873900757
桜川保育園	桜川保育園	茨城県土浦市 田中3-4-5	令和2年4月1日	令和2年3月31日	0820306100018

3. 理事会・評議員会開催状況

【理事会】

第1回理事会	令和5年6月1日(木) 同意者:理事6名 監事2名
第1号議案	令和4年度 事業報告及び決算報告の承認の件
第2号議案	桜川保育園期末資金のサポートセンター繰り入れの件
第3号議案	第三者委員の選任の件
第4号議案	評議員会への提案の件
第5号議案	憩いの里外壁塗装工事の件
第6号議案	憩いの里の屋根補修、外壁塗装に伴う契約方法、業者選定の件
第7号議案	憩いの里の屋根補修、外壁塗装に伴う銀行借り入れの件
第2回理事会	令和5年6月16日(金) 同意者:理事5名 監事2名
第1号議案	理事長の選任の件
第2号議案	特別養護老人ホーム憩いの里 外壁塗装及び屋根防水工事の入札結果、落札業者との契約締結の件
第3回理事会	令和5年11月16日(木) 同意者:理事6名 監事2名
第1号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園移管先決定及び運営の件
第2号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園の基本・実施設計及び監理業務委託業者の選定の件
第3号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園運営に必要な千鳥ヶ丘の土地の購入及び貸借の件
第4号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園運営に必要な土地の伐採・伐根業者の選定について
第5号議案	令和5年度第1回補正予算書(案)の件
第6号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園の建設に伴う建設委員会の設置の件
第7号議案	評議員会召集の件
第4回理事会	令和6年3月13日(水) 同意者:理事6名 監事2名
第1号議案	桜川保育園の前期末支払資金残高の繰り入れの件
第2号議案	令和5年度 第2回補正予算(案)の件
第3号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園の新築工事にかかる福祉医療機構からの借り入れの件
第4号議案	令和6年度 資金収支予算(案)の件
第5号議案	令和6年度 事業計画(案)の件
第6号議案	定款変更の件
第7号議案	就業規則等の変更の件
第8号議案	介護職員養成研修事業学則変更の件
第9号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園建設に伴う入札参加資格要件の件
第10号議案	評議員会の召集の件

【評議員会】

第1回評議員会(定時評議員会)	令和5年6月16日(金) 同意者:評議員5名
第1号議案	令和4年度事業報告及び決算報告の承認の件
第2号議案	理事・監事の選任の件
第3号議案	桜川保育園期末資金のサポートセンター繰り入れの件
第4号議案	憩いの里の屋根補修、外壁塗装に伴う銀行借り入れの件
第2回評議員会	令和5年11月27日(月) 同意者:評議員6名
第1号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園移管先決定及び運営の件
第2号議案	令和5年度 第1回補正予算書(案)の件
第3回評議員会	令和6年3月21日(木) 同意者:評議員6名
第1号議案	定款変更の件
第2号議案	桜川保育園の前期末支払資金残高の繰り入れの件
第3号議案	令和5年度 第2回補正予算(案)の件
第4号議案	(仮称)霞ヶ岡保育園の新築工事にかかる福祉医療機構からの借り入れの件
第5号議案	令和6年度 資金収支予算(案)の件
第6号議案	令和6年度 事業計画(案)の件

4. 監事監査の実施状況

令和5年5月15日(月) サポートセンターにて 10:00～
・理事の業務執行状況……適正である。・法人の財産管理状況……適正である。
・法人・施設の業務執行状況……適正である。・法人・施設の会計状況……適正である。

5. 職員状況

<在籍者数(名)>令和6年3月31日時点

サービス区分	正職員	嘱託職員	パート職員	合計
サポートセンター	4	0	3	7
特別養護老人ホーム飛羽ノ園	24	1	13	38
特別養護老人ホーム飛羽ノ園・とわ	8	0	4	12
飛羽ノ園デイサービスセンター	6	0	3	9
飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所	5	0	0	5
特別養護老人ホーム憩いの里	39	4	8	51
デイサービス憩いの里	7	1	4	12
支援センター憩いの里	3	0	0	3
桜川保育園	18	3	13	34
合計	114	9	48	171

<入職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	2	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	0	8
憩いの里	0	1	1	0	1	0	1	0	3	0	2	1	10
桜川保育園	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	4
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	3	2	2	1	3	0	2	1	4	0	4	1	23

<退職者数一覧(名)>

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
飛羽ノ園	0	2	0	0	2	2	0	0	1	0	1	1	9
憩いの里	0	0	0	1	1	0	1	0	2	2	2	2	11
桜川保育園	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3	5
サポートセンター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
合計	0	2	1	1	3	2	1	0	4	2	3	7	26

<離職率一覧>※離職率(%)=当期間内の退職者数÷当期首の在籍者数×100

施設名	令和4年度	令和5年度	前年度比
飛羽ノ園	15.0%	14.0%	△1.0%
憩いの里	12.0%	17.0%	+5.0%
桜川保育園	9.0%	15.0%	+6.0%
サポートセンター	0.0%	20.0%	+20.0%

<面接回数>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	4	3	2	2	3	7	4	6	2	1	0	1	35

<ハローワークでの企業説明会・面接会>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
回	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

<採用詳細>

No	勤務地	職種	雇用形態	所持資格	経験	媒体
1	憩いの里・デイ	看護職員	パート	看護師	あり	人材紹介
2	憩いの里・特養	看護職員	パート	看護師	あり	採用課金
3	飛羽ノ園・従来	看護職員	パート	准看護師	あり	職員紹介(元職員)
4	桜川保育園	保育士	パート	保育士	あり	直接応募
5	憩いの里・特養	介護職員	正職員	介護福祉士	あり	人材紹介
6	桜川保育園	保育補助員	パート	なし	なし	市役所紹介(ウクライナ避難民)
7	飛羽ノ園・デイ	介護職員	パート	なし		人材紹介
8	憩いの里・居宅	介護支援専門員	正職員	介護支援専門員	あり	職員紹介
9	憩いの里・特養	介助員	パート	なし	なし	元職員紹介
10	飛羽ノ園・ユニット	介護職員	正職員	初任者研修修了	あり	人材紹介
11	憩いの里・特養	介護職員	正職員	介護福祉士	あり	人材紹介
12	憩いの里・特養	介護職員	パート	実務者研修修了	あり	直接応募
13	憩いの里・特養	介護職員	正職員	介護福祉士	あり	採用課金
14	サポセン	事務職員	パート	なし	なし	ハローワーク(新卒)
15	憩いの里・特養	介護職員	正職員	初任者研修修了	あり	採用課金

16	飛羽ノ園・デイ	介護職員	正職員	初任者研修修了	なし	採用課金
17	憩いの里・特養	介護職員	正職員	介護福祉士	あり	採用課金
18	飛羽ノ園・従来	介護職員	正職員	なし	なし	ハローワーク(高卒・新卒)
19	飛羽ノ園・従来	事務職員	正職員	実務者研修修了	なし	ホームページ
20	憩いの里・特養	介助員	パート	なし	なし	ハローワーク

<産休・育休取得> ※女性取得者の復帰率 100%(復職後の退職者なし)

年度	男性		女性	
	人数	取得率	人数	取得率
令和元年度	0人/2人	0%	1人/1人	100%
令和2年度	0人/0人	0%	1人/1人	100%
令和3年度	0人/1人	0%	0人/0人	0%
令和4年度	3人/4人	75%	3人/3人	100%
令和5年度	2人/3人	67%	2人/2人	100%

<有給休暇> ※消化率の分母は当年付与された有給休暇の日数、分子は前年度の繰り越しを含む使用日数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
平均取得日数	10.9日	9.6日	10.1日	12.0日	12.4日
平均消化率	70.1%	66.1%	70.8%	78.9%	85.1%

<国家資格有資格者数> ※保育士には、保育教諭・保母を含む

介護福祉士	74	正看護師	12	管理栄養士	3	保育士	21
社会福祉士	8	准看護師	4	栄養士	0	小学校教諭1種	1
理学療法士	0	保健師	1	調理師	2	合計	148
作業療法士	1	公認心理師	1	幼稚園教諭1種	2	※一人で重複して所持している資格含む	
歯科衛生士	1	美容師	2	幼稚園教諭2種	15		

6. 研修・講習・交流会状況

①内部研修実施状況

日時	研修名・対象者	担当	参加者(名)
令和5年4月19日(10:00~12:00)	新入職員研修	沼尻	14名
令和5年6月28日(10:00~11:30)	居宅ケアマネ研修① (虐待、感染症、BCP)	沼尻	6名
令和5年9月1日(18:30~19:00)	憩いの里勉強会 (プライバシー、権利擁護、個人情報)	沼尻	28名
令和5年9月13日(10:00~12:30)	居宅ケアマネ研修② (認知症、法令遵守、プライバシー)	沼尻	6名
令和5年12月13日(9:30~12:00)	居宅ケアマネ研修③ (虐待、感染症、BCP)	沼尻	6名
合計			60名

②外部研修参加状況

日時	研修名	研修場所	参加者(名)
令和5年4月26日(水) 13:00~14:00	今、求められている組織の Well-being とは？	サポセン(オンライン)	1
令和5年5月26日(金) 14:00~15:15	令和5年度新規学校卒業予定者対象求人受理説明会	サポセン(オンライン)	1
令和5年10月3日(水) 16:00~18:00	人を大切にする会社づくり勉強会(第一回)	つくばカピオ 小会議室	2
令和5年10月4日(木) 13:30~16:00	介護職員処遇改善加算取得促進セミナー	つくば研究支援センター	2
令和6年1月22日(月) 16:00~18:00	人を大切にする会社づくり勉強会(第二回)	つくばカピオ 中会議室	2
令和6年2月6日(火) 13:30~16:10	令和5年度公正採用等人権啓発研修会	牛久市中央生涯学習センター	2
合計			10

令和 5 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 祥風会

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

理事長 羽鳥 圭一

室 長 沼尻 知士

〒300-0823 土浦市小松1-3-3-33ハトリビル6階

T E L 029-896-3521

F A X 029-896-3522

U R L <https://showfukai.com>

E-Mail ks@showfukai.com

社会福祉を目的とする事業に従事する者の養成及び研修事業

1. 総括

令和5年度は、介護職員初任者研修29名(受講者29名)、介護福祉士実務者研修15名(受講者17名)と多くの方が無事に研修を修了された。介護職員初任者研修では、開校月が4月、7月、11月に変更となり一定の間隔で開講し、併せて介護福祉士実務者研修との開講期間の重複が少なくなったため、講師を担当する職員の負担が軽減し、補講や日程変更に対応しやすくなった。

また、コロナウイルス感染症の取扱いが5類に変更となり、感染対策についても個々の意識に任せることとなったが、休校することなく無事に研修を開催することができた。介護福祉士実務者研修では、令和5年度に修了した受講生の8名が介護福祉士試験に合格することができた。残念ながら不合格となった修了生や受験資格がなく次回受験される方も数名おり、引き続き試験に向けたフォローアップをしていきたい。

また、LINEアカウントを作成し、受講生との連絡や相談、修了生へのスキルアップや仕事の相談などに対応できるようにした。気軽に相談できる研修室としてイメージアップにつなげ、口コミによる受講生の獲得や就職の選択肢の一つとなるよう期待している。ただし近年は既に介護職として就労している受講生が多いため、採用には至っていない。

2. 内容

(1) 介護職員初任者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第1回	4月6日～7月20日	12 ※新卒法人職員受講生1名を含む	12
第2回	7月7日～10月20日	6	6
第3回	11月2日～2月29日	11	11
	合計	29	29

② 施設実習・見学会

令和5年度は、施設実習及び見学の希望がなかったため開催しなかった。令和6年度も各施設の感染対策状況を踏まえて、希望があれば可能な限り開催する方向で検討している。

③ 年代別受講者数(名)

世代	10代		20代		30代		40代		50代		60代		開催毎の計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
第1回	2	0	1	1	1	2	1	3	0	0	0	1	12
第2回	0	0	0	1	0	1	0	2	1	1	0	0	6
第3回	0	0	2	0	1	3	0	2	0	3	0	0	11
男女別計	2	0	3	2	2	6	1	7	1	4	0	1	29
合計	2		5		8		8		5		1		

(2) 実務者研修

① 実施期間・受講者、修了者数

	期間	受講者数(名)	修了者数(名)
第1回	6月6日～11月28日	17	15 ※受講者2名修了できず
	合計	17	15

② 年代別受講者数(名)

世代	20代		30代		40代		50代		60代	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
第1回	1	1	4	4	2	1	0	3	0	1
合計	2		8		3		3		1	

令和 5 年度

事業報告

社会福祉法人 祥風会

特別養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

飛羽ノ園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 中島 勇一

〒300-0823 土浦市小松3-18-18

T E L 029-826-2941

F A X 029-826-2946

U R L <https://showfukai.com>

E-Mail hiwanoen@showfukai.com

特別養護老人ホーム飛羽ノ園
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護
ユニット型サテライト型地域密着型介護施設(とわ)

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

入居者の視点に立った「尊厳を守るケア」を実施するため、本年度も職員の接遇力向上に重きを置いた1年だった。毎月、権利擁護推進・身体拘束適正化委員会を開催し、身体拘束実施状況の確認や入居者への接遇状況の確認を実施、また、虐待の芽チェックリストを活用し、接遇力向上と入居者の権利を守るための活動を行うことが出来た。

認知症による記憶障害や見当識障害、判断・理解力の低下に伴い、昼夜を問わず転倒・転落リスクが高い入居者が多い時期もあったが、介護・看護職員数も安定してきており、不安感に寄り添いながら大きな事故なく過ごしていただく事が出来た。尊厳ある「その人らしい生活」の継続のため、毎月のカンファレンスを実施し計画書を作成した。

2. 短期入所・介護予防短期入所生活介護

家族の介護を受けながら在宅生活を維持してきたが、認知症症状の悪化や要介護度の重度化、家族の介護力の限界を超えてしまったなどの理由により、長期ショートステイ利用を希望される家庭が多くみられた。土浦市包括支援センターからの困難事例依頼にも対応し、地域での困りごと解決に貢献できたと考えている。ショートステイの定期・不定期利用や一度だけの利用など柔軟に対応し、在宅生活を継続する事が出来るよう計画を立てて支援した。

3. 稼働率報告

種別	従来		ユニット		ショートステイ	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
年間ベッド数(最大)	18,250	18,300	7,300	7,320	3,650	3,660
利用延べ人数	18,220	18,216	7,167	7,232	2,859	2,982
稼働率(%)	99.8	99.5	98.1	98.7	78.3	81.4

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
		従来	入所	1	0	0	0	1	3	1	3	3	0	1	0
	退所	1	0	0	0	1	3	2	4	1	0	1	1	14	12
とわ	入所	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3
	退所	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	4

(2) 入居・退居経路

入居経路	従来型	ユニット	退居経路	従来型	ユニット
居宅	11	2	永眠	11	2
病院	2	1	病院	3	0
老健	0	0	老健	0	0
有料老人ホーム	0	0	居宅	0	0
特養	0	0	特養	0	0
計	13	3	計	14	2
前年度計	12	3	前年度計	12	4

(3) 要介護度別 ※令和6年3月31日現在

要介護度	性別				人数計		前年度	
	男		女					
	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ	従来	とわ
1	2	0	4	2	6	2	4	3
2	2	0	4	3	6	3	4	3
3	7	1	8	6	15	7	20	9
4	2	0	14	5	16	5	19	3
5	2	0	4	3	6	3	3	1
合計	15	1	34	19	49	20	50	19
平均要介護度	2.9	3.0	3.3	3.2	3.2	3.2	3.3	2.7

(4)年齢構成 ※令和6年3月31日現在

年齢(歳)		～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
従来	男性	1	1	2	0	3	2	6	15
	女性	0	0	0	2	9	7	16	34
とわ	男性	0	0	1	0	0	0	0	1
	女性	0	0	0	0	3	1	15	19
合計		1	1	3	2	15	10	37	69
前年度		2	2	2	5	11	12	35	69

(5)入居者要介護度別利用状況

①従来

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	6	4	19	19	3	51
5		6	5	18	18	3	50
6		6	5	18	18	3	50
7		6	5	18	18	3	50
8		6	5	19	18	3	51
9		6	4	21	19	3	53
10		6	5	20	18	2	51
11		6	5	21	18	2	52
12		5	6	18	17	5	51
1		6	6	17	17	4	50
2		6	6	18	17	4	51
3		6	6	16	16	6	50
R5		71(2,149)	62(1,801)	223(6,648)	213(6,394)	41(1,224)	610(18,216)
R4		43(1,301)	53(1,605)	233(6,946)	233(6,911)	49(1,457)	611(18,220)

②とわ

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	3	3	9	3	2	20
5		3	3	9	3	2	20
6		3	3	9	3	2	20
7		2	3	10	3	2	20
8		2	3	10	3	2	20
9		2	3	9	4	2	20
10		2	3	9	4	2	20
11		2	3	9	4	2	20
12		2	3	9	4	2	20
1		2	3	8	4	3	20
2		2	3	8	4	3	20
3		2	3	7	5	3	20
R5		27(898)	36(1,098)	106(3,160)	44(1,315)	27(821)	240(7,292)
R4		15(439)	49(1,492)	110(3,285)	49(1,436)	17(515)	240(7,167)

《考察》

入所評価基準点の高い方から順番に入所への声掛けをすることが出来た。また、点数は低いものの急ぎの入所を希望された方に対しては、入所基準検討委員会にて緊急性を公正に判断して対応した。

入居中の方の要介護度に関しては、更新や区分変更により要介護度が下がった方・上がった方がおり、変動はあるものの、従来型では要介護度3と4、ユニット型では要介護度3が多数を占めていた。

これからも、入所評価基準点での優先順と、点数では評価する事の出来ない緊急性の高い方とを公平・公正に判断して対応していきたい。

(6)短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

月	要介護度	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4	実人数 (延人数)	0	1	3	2	3	2	3	14
5		0	1	0	3	4	3	2	13
6		0	1	1	4	4	3	2	15
7		0	1	1	4	5	3	1	15
8		0	1	1	3	5	4	1	15
9		0	1	2	4	5	4	1	17
10		0	1	2	5	2	2	2	14
11		0	1	2	4	2	3	2	14
12		0	1	2	4	3	4	2	16
1		0	1	3	4	3	4	2	17
2		0	1	3	5	2	4	1	16
3		0	1	3	3	2	3	1	13
R5		0 (0)	12 (46)	23 (184)	45 (590)	40 (627)	39 (1,020)	20 (515)	179 (2,982)
R4		0 (0)	8 (28)	35 (596)	9 (118)	57 (1,165)	32 (778)	10 (168)	151 (2,853)

《考察》

今年度も長期ショートステイ利用のニーズが多く、半数以上を占める結果となっている。その中でも、在宅で家族等の介護を受けながらショートステイを定期的にご利用されている方も一定数いるため、そのような方々の在宅介護を支えるためにも、長期利用と定期利用の受け入れ人数を柔軟に調整・変更し対応したいと考えている。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(従来型)

【1】 重点目標: 接遇を中心に初心に戻り、入居者に安心できるサービスを提供する

接遇では、入居者に対し適切な言葉遣いでの支援を行う事が出来た。来年度も継続して取り組んでいき、さらに職員間でも注意しあえるようにしていきたい。

〔計画内容〕

(1) 職員の知識・技術の向上

防災・感染・褥瘡委員会においては、積極的に活動を行い勉強会も実施した。来年度は外部研修に積極的に参加し、参加職員による勉強会をし、さらなる知識、技術の向上を図っていきたい。

(2) 職員の意識改革

職員間での「報告・連絡・相談」を行うも十分ではなかった。来年度では、コミュニケーションを密にとり、チームとしてケアの統一を出来るよう心掛けていきたい。

(3) 家族と信頼関係の構築

新型コロナウイルスが 5 類となり、行事などでご家族と接する機会が増えてきた。来年度も、ご家族の参加行事が増えると考えられるため、積極的にご家族とコミュニケーションをとっていきたい。

1. 医務

(1) 長谷川式スケール実施状況

※30 点満点中 20 点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	1	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	1	0	1	0	0	0	2
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
80~84	男	0	0	1	1	0	1	0	3
	女	1	1	2	1	1	2	1	9
85~89	男	0	1	0	1	0	0	0	2
	女	1	5	1	1	0	0	0	8
90~94	男	2	1	1	0	0	0	0	4
	女	1	4	4	1	2	0	0	12
95~	男	0	0	0	1	0	0	0	1
	女	2	1	0	0	0	1	0	4
計		7	15	9	7	3	5	2	48

(2) 日常生活状況(ADL の状況)※令和 6 年 3 月 31 日現在

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	29	17	4	9	26	15	2	31	17	2	30	18
前年度	41	3	6	18	17	15	5	17	28	6	15	29
区分	移 乗			寝 返 り			移 動 (歩 行)		移 動 (車 い す)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	13	21	16	23	12	15	10	3	3	19	14	
前年度	5	32	13	15	20	15	8	2	10	5	35	

(3) 処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	152	136	134	124	124	117	139	64	72	87	80	71	1,300
処置	107	131	186	167	155	136	108	100	58	135	168	92	1,543
軟膏・湿布	306	384	440	445	475	438	326	256	229	203	240	305	4,047
テープ	90	122	119	123	107	87	94	111	148	155	145	162	1,463
救急対応	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	2	7
看取り	1	0	0	0	0	3	0	2	1	0	1	0	8

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合計
延人数	4	12	4	48	2	0	349
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数(名)	3	6	235	0	0	1	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科	精神科	神経内科	口腔外科	
延人数(名)	3	8	4	7	3	0	
受診科名	婦人科	腎臓内科	循環器内科	代謝内科	脳神経内科	緩和ケア	
延人数(名)	1	0	7	1	0	0	

(5)入浴実施状況

①特養

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
特浴	121	113	124	115	111	139	120	108	121	97	103	94	1,366
一般浴	286	322	326	302	313	295	278	293	311	290	298	305	3,619
合計	407	435	450	417	424	434	398	401	432	387	401	399	4,985

②短期入所生活介護(予防・空床利用含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延べ人数(名)	59	84	86	83	77	73	56	58	60	66	67	68	837

《考察》

入居者の日々の状況を観察し、多職種で情報共有・話し合い、個々に合わせた ADL の維持・継続が出来るようにケアを提供する事が出来た。

2. 給食

(1)令和5年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	1kcal	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	mg	mg	mg	g
目標値	1,535	50	42.6	600	5.3	0.86	0.96	100	7.0
4月	1,575	61.4	43.3	557	9.5	0.80	0.92	69	6.7
5月	1,606	59.9	43.1	562	9.5	0.77	0.88	71	7.2
6月	1,608	59.5	43.4	560	9.8	0.81	0.91	74	7.2
7月	1,623	61.0	44.3	575	9.7	0.82	0.91	77	7.6
8月	1,653	61.5	45.2	571	9.7	0.84	0.89	81	9.7
9月	1,646	61.8	44.5	577	9.6	0.86	0.93	81	9.7
10月	1,654	60.9	47.5	559	9.7	0.82	0.91	75	9.6
11月	1,646	61.8	43	548	9.7	0.86	0.91	72	11.2
12月	1,654	64.4	43.4	555	9.7	0.86	0.93	74	10.8
1月	1,692	67	44.9	566	9.6	0.81	0.97	87	10.7
2月	1,657	65.9	44.0	572	9.4	0.82	1.00	73	10.6
3月	1,690	66.6	45.1	561	9.6	0.83	1.00	82	10.2

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	17,936	17,834	17,952	53,722
ユニットとわ	7,206	7,166	7,208	21,580
ショートステイ	2,696	2,939	2,708	8,343
デイサービス	0	4,157	0	4,157
職員	366	1,998	366	2,730
来客	0	0	0	0
実習生	0	2	0	2
延人数(名)	28,204	34,096	28,234	90,534

②選択食

日時	A	B
4月26日	鯖のトマト煮	ミートローフ
5月19日	煮込みハンバーグ	魚のきのこあんかけ
6月30日	麻婆豆腐	サーモンフライ
7月24日	鶏肉の香味ソース	白身魚の香味ソース
8月30日	ムニエル	豚肉の南蛮漬け
9月26日	エビチリ丼	チンジャオロース丼

10月23日	鶏のクリーム煮	白身魚フライ
11月24日	鶏のマスタード焼き	白身魚のチリソースかけ
12月28日	はんぺんチーズフライ	メンチカツ
1月20日	鶏のクリーム煮	白身魚の香味ソース
2月12日	ポパイオムレツ	鶏肉のパン粉焼き
3月22日	鶏のマヨネーズ焼き	カニクリームコロッケ

③行事食(従来型)

1	日時	4月12日	行事名	4月イベント食
	山菜おこわ、天ぷら盛り合わせ、菜の花の辛し和え、フルーツ、花麩とみつばの清汁			
2	日時	5月5日	行事名	5月イベント食
	そら豆と昆布の炊き込みご飯、かつおのたたき、新じゃがの海苔塩バター、抹茶あんみつ、春キャベツの味噌汁			
3	日時	6月15日	行事名	6月イベント食
	枝豆と小エビのかき揚げ丼、焼きナス、いんげんの梅しそ和え、フルーツ和え、味噌汁			
4	日時	7月7日	行事名	7月イベント食
	七夕そうめん香味だれ、夏野菜の天ぷら盛り合わせ、冬瓜のくず煮風、黒蜜のゼリー			
5	日時	7月30日	行事名	納涼祭
	焼きそば、やきとり、フランクフルト、おにぎり、豚汁、胡瓜漬け、かき氷、スイカ、ジュース			
6	日時	8月16日	行事名	8月イベント食
	夏のちらし寿司、野菜の揚げ浸し、キャベツのマヨ浸し、フルーツ、清汁			
7	日時	9月14日	行事名	9月イベント食
	三種のさのご御飯、秋サケの塩焼き、ほうれん草のお浸し、フルーツ、清汁			
8	日時	9月17日	行事名	敬老会
	うなぎ散らし、天ぷら盛り合わせ、茶わん蒸し、清汁、ひよこ饅頭			
9	日時	10月17日	行事名	10月イベント食
	秋のさつま芋御飯、揚げ魚のおろしポン酢、オクラと湯葉のお浸し、オレンジゼリー、秋ナスの味噌汁			
10	日時	11月15日	行事名	11月イベント食
	小豆おこわ、霜月の天ぷら盛り合わせ紅葉おろし添え、春菊のお浸し、リンゴのコンポート、清汁			
11	日時	12月24日	行事名	クリスマス会
	海老ドリア、ケンタッキー・フライド・チキン、コールスローサラダ、野菜スープ、ジュース、イチゴショートケーキ			
12	日時	12月25日	行事名	12月イベント食
	エビピラフ、ハンバーグナポリタン添え、フレンチポテトサラダ、チョコババロア、コンソメスープ			
13	日時	1月1日	行事名	1月イベント食
	彩りちらし寿司、炊き合わせ、おせち2種、フルーツ、清汁			
14	日時	2月3日	行事名	2月イベント食
	ちらし寿司、イワシの松風焼き梅おろし添え、春菊のごまあえ、フルーツ、清汁			
15	日時	3月3日	行事名	3月イベント食
	にぎり寿司、春の和え物、桃ゼリー、清汁			

(3)栄養ケアマネジメント

①栄養ケアカンファレンス(開催回数 30回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	21	18	13	22	17	16	20	15	18	24	11	22	217

(4)会議・研修

- ・給食会議 毎月第4水曜日
- ・全体会議 毎月10日
- ・茨城県栄養士会研修、茨城県福祉栄養士会研修

《考察》

今年度は入居者の入退所が少なかったものの、全体的に身体状態が落ち栄養状態が悪くなっていた為、エンシュアなど濃厚流動食で捕捉している方が多く見られた。今後も、多職種共同し栄養状態の改善に努めていきたい。

委託業者の運営体制に不信感を抱く事態や食材高騰により、食事の質が低下したため、委託業者の変更の検討を行ったが、金銭的に難しく変更に至らなかった。しかし、現委託業者が、栄養士の変更、調理改善計画などを実施し、食事内容の改善が見られるようになった。今後も委託業者と連携し、より良い食事の提供が出来るようにしていきたい。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数(開催合計 入居 37回 SS 25回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
入居(名)	6	10	10	7	9	14	3	17	13	7	10	10	116
SS(名)	1	2	2	4	3	3	3	1	2	3	2	4	30

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数(名)	1	2	3	0	3	1	2	3	1	6	5	3	30

《考察》

状態の変化時や定期カンファレンスを開催し、介護・看護・栄養等多方面から状態を確認しケアプラン見直しにつなげる事が出来た。しかし、似たようなニーズや目標となってしまう事も多く、個々の能力や機能・強み・意欲などを引き出せるようなプランにはなかなかできず、アセスメント不足、モニタリング不足を感じたため、今後の課題としてしっかり受け止め、こまめに現場と連携し取り組んでいきたい。

認定調査に関しては、特記事項の表現など分かりやすく書こうとして悩みすぎ、時間がかかってしまう事が多かった。区分変更のタイミングなど一人で悩まず、生活相談員や現場職員など多職種と相談して適切に進められるように今後も取り組んでいきたい。

4. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

1	入所検討委員会	入所基準評価点に伴うランク順に入居へ導く事が出来るよう努めた。リスト順が1番だが入所できる状態ではなく受け入れられない方もいた。その他、緊急性の高いと思われる方に関しては、委員会で冷静に判断し受け入れる事が出来た。
2	身体拘束廃止委員会	毎月委員会を開催し、身体拘束を実施している方の拘束している時間を減らす検討を続けた。また、職員一つ一つの行動が虐待の芽にならないよう、チェック表を活用し予防に努めた。
3	感染症対策委員会	コロナウイルスが5類感染症扱いになり、世間では外出などの制限も少なくなる中、施設内行事の家族参加の有無などを委員会で検討し実行してきた。また、コロナウイルスだけではなくインフルエンザウイルスなどの流行に伴い、感染対策も継続して行う事が出来た。 来年度も委員会で、コミュニケーションをとりながら取り組んで対応していきたい。
4	災害防火委員会	定期的避難訓練の他、災害 BCP の策定会議を行った。また、実施機会の少ない防犯訓練や AED 訓練等を取り入れる事が出来た。
5	介護力向上委員会	コストを意識しておむつ類や物品の発注業務を行った。来年度もコストを意識していく事を継続し、無駄の無いように努めていきたい。
6	寄添う看取り委員会	今年度もマニュアルの整備を行ってきたが、委員会としての活動が少なく出来ない所が多くあった。来年度は、定期的な委員会の実施、活動内容の見直し等を行ってきたい。
7	褥瘡予防委員会	現在、褥瘡の入居者はおらず、引き続き現状維持に努めていきたい。今後、定期的に勉強会を行い情報・知識を浸透させていきたい。
8	胃ろう・吸引対策委員会	今年度も胃ろうに関わる事が無く、委員会としての活動がなかった。来年度は外部研修などに参加し、勉強会を開催し知識の向上を図る。
9	営繕委員会	パンク修理を介護職員で行い、コストを意識した業務をしてきた。その他、車椅子使用者がわかるようにし、リハビリ活動との連携に取り組んだ。
10	広報委員会	利用者の行事風景の写真等、家族に送り喜んでもらう企画を実施した。喜びの声が聞かれたため、今後も継続した取り組みとしたい。SNS では、Instagramへの掲載を都度実施し施設内の様子の情報発信を行う事が出来た。広報紙においても、研修での学びを活かしより見やすいものへと発展させる事が出来た。
11	レクリエーション委員会	月ごとの甘味処やドライブ、散歩等の外出行事を実施する事が出来た。また、YouTubeを導入しリハビリ体操等に活用する事が出来た。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
4	20	甘味処(水ようかん)	50	11	0	61
	22	4月誕生会	2	3	0	5
5	24	甘味処(アイスクリーム)	49	10	0	59
	27	5月誕生会	3	3	0	6
6	5	甘味処(フルーチェ)	48	10	0	58
	17	6月誕生会	4	3	0	7
7	8	予科練記念館外出	4	3	0	7
	26	甘味処(あんみつ)	49	10	0	59
	29	納涼祭	50	14	0	64

8	16	甘味処(スイカシャーベット)	50	11	0	61
	26	7月、8月誕生会	4	3	0	7
9	17	敬老祝賀会	50	11	0	61
	23	9月誕生会	5	3	0	8
	30	甘味処(練り切り)	50	10	0	60
10	21	10月誕生会	3	2	0	5
	28	甘味処(ティラミス)	49	9	0	58
11	12	甘味処(スイートポテト)	48	9	0	57
	21	11月誕生会	3	3	0	6
12	13	クリスマス食事会	50	10	0	60
	17	12月誕生会	7	3	0	10
	24	クリスマス会	50	10	0	60
1	3	正月式	50	11	0	61
	5~21	初詣ドライブ	12	10	0	22
	28	1月誕生会	8	3	0	11
2	18	2月誕生会	2	2	0	4
	24	豆まき&甘味処(ロールケーキ)	10	10	0	20
3	16	3月誕生会	6	3	0	9
	31	甘味処(どら焼き)	50	9	0	59

《考察》

誕生会や甘味処イベントは毎月実施し、入居者も喜んでいて、来年度も継続した取り組みとしていきたい。また、ドライブや外出など外に出るイベントも多く企画していきたい。

委員会の中には、活動があまりできていない所もあったため、来年度は定期的に会議を開催し、積極的に活動できるようにしていきたい。

5. ユニット費

月平均額	年間累計
10,131円	121,576

入居者の生活用品の購入が多かった。来年度も、入居者が生活しやすくなる物品の購入にユニット費を活用していきたい。

6. 研修

(1) 内部研修報告

① 施設全体研修(従来型・ユニット・デイ・在支・居宅・事務)18:30~19:00

月	日	内容(対象者)	参加人数
4	10	介護職の接遇マナーとは?(全体)	28名
10	10	感染勉強会(全体)	24名
2	9	飛羽ノ園権利擁護・身体拘束適正化運営委員会による勉強会(全体)	22名
3	8	事故防止のための勉強会	22名

② 部署内研修

11	2	安全な食事介助について	8名
11	7	褥瘡予防勉強会(ユニット)	9名

(2) 外部機関研修

研修名	開催時期	研修内容	人数
ユニットケア施設管理者研修	オンライン	ユニットケアを取り巻く社会背景と展望、理念と特徴、高齢者の生活環境、組織のマネジメント等	1名
介護施設における安全対策担当者養成研修	R5.5.10~ R5.7.31	介護施設における安全対策担当者の陽性	1名
「伝わる」で繋がる広報紙講座	R5.7.18	広報紙を作るスキル習得	1名
普通救急講習会	R5.9.7	普通救命講習会	1名
令和5年度BCP策定研修会	R5.9.8	BCP(事業継続計画)策定について	2名
歯科健康教室	R5.10.25	歯周病について、歯と口腔の健康相談	12名
茨城県高齢者権利擁護推進研修会	R5.11.15~ R6.1.26	高齢者権利擁護に関して	1名
給食研究会ブロック行動研修会	R5.11.22	食事介助について	1名
霞ヶ浦医療センター感染対策座談会	R5.11.24	話題の感染症と対策について、高齢者施設職員間の情報交換	1名
施設長管理者研修会	R6.2.27	介護報酬改定について	3名
霞ヶ浦医療センター感染対策座談会	R6.2.16	話題の感染症と対策について、高齢者施設職員間の情報交換	1名
合計			25名

(3)老人福祉施設協議会の県南・土浦地区ケアマネジャー研究会・交流研修
コロナ拡大防止のため未参加。

《考察》

前年度に比べ、外部研修への参加を多く行う事が出来た。来年度も、外部研修会への参加者を増やし新たな知識習得の他、外部の介護施設の職員とかかわることでのスキルアップも狙っていききたい。

内部研修に関しては、外部研修で得た知識をアウトプットする場をもっと増やしていきたいと考えている。より多くの職員に研修参加してもらう工夫も必要と感じた。

7. 実習生受入れ

今年度、外国人実習生の受け入れを行った。久しぶりの実習生受け入れのため、どのように指導すればいいのか施設長と指導員、相談員で確認・連携し指導にあたった。

実習生指導を通し、改めて自分たちの日ごろのケアの見直しを行う良い機会にもつなげる事が出来たと感じている。また、経験年数の少ない職員も指導により成長する機会にもなった。来年度も実習生の受け入れを継続し、指導を通してスキルアップに繋いでいきたいと考えている。

8. ボランティアの受け入れ

9. 地域貢献活動「ふらっと HIWA～介護のことなんでも語らおう」

※8.9については、昨年度同様、コロナ拡大防止のため、中止とした。

特別養護老人ホーム 飛羽ノ園(とわ)

【1】重点目標:権利擁護を理解し入居者様を第一に考えた介護の提供

入居者一人一人を理解しながらの支援を心掛けていたが、忙しさや職員の断続的な不足により、その人にあった生活の場の提供が出来なかったと感じる。

権利擁護に関しても、言葉かけや対応が十分に尊重した形になっていなかった部分もあった。来年度への課題である。

イベント開催が例年より少なくなってしまった。来年度は楽しみの持てるイベントや甘味処等の企画を増やしていきたい。

〔計画内容〕

(1)24 時間シート、介護過程に即した介護・支援の提供

検討会議の開催が少なく 24 時間シートの見直しが疎かになってしまった。

(2)チームケア

看護師をはじめとし他部署・多職種連携が出来スムーズな支援に繋がった。

(3)職員の知識の向上

研修の機会が少なく知識向上は難しかったが、課題と感じた際にはタイムリーに職員同士で考え、様々な意見をもとに検討・改善する事が出来た。

1. 医務

(1)長谷川式スケール実施状況 ※30 点満点中 20 点以下は認知症の可能性が高い(診断結果は参考)

年齢	性別	点 数							計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	1	0	0	0	0	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
75~79	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
80~84	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	2	0	0	1	0	0	3
85~89	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	1	0	0	0	0	0	1
90~94	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	2	3	1	1	0	1	1	9
95~	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	3	0	1	0	0	1	6
計		3	10	1	2	1	1	2	20

(2)日常生活状況(ADL の状況)※令和 6 年 3 月 31 日現在 ※単位は人

区分	食 事			排 泄			入 浴			着 脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
人数	13	3	4	3	5	12	0	15	5	4	9	7
前年度	0	17	2	0	15	4	0	15	4	0	15	4
区分	移 乗			寝返り			移動(歩行)		移動(車いす)			
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	自立	一部介助	全介助	
人数	0	9	5	13	2	5	5	1	0	9	5	
前年度	0	15	4	0	15	4	0	7	0	6	6	

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	60	62	60	22	28	17	31	41	31	31	29	41	453
処置	30	31	27	42	20	33	48	55	32	29	8	25	380
軟膏・湿布	71	68	133	116	93	129	103	55	123	129	134	145	1,299
テープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急対応	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
看取り	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	泌尿器科	心療内科	合 計 309
延人数	9	0	12	14	0	0	
受診科名	外科	歯科	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	乳腺外来	
延人数	2	3	261	0	0	0	
受診科名	形成外科	耳鼻科	消化器科	精神科	神経内科	口腔外科	
延人数	0	0	4	4	0	0	

(5)入浴実施状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
むべ	87	93	79	76	80	62	56	84	84	83	82	64	930
わかくさ	78	89	83	88	71	70	83	77	84	77	83	56	939
合 計	165	182	162	164	151	132	139	161	168	160	165	120	1,869

2. 給食

(1)食事提供状況

①行事食(ユニット・とわ)

1	日 時	3月25日	行事名	とわイベント食
	うなぎの蒲焼き、筑前煮、わさび和え、煮豆、フルーツ			
2	日 時	4月12日	行事名	4月イベント食
	山菜おこわ、天ぷら盛り合わせ、菜の花の辛し和え、フルーツ、花麩とみつばの清汁			
3	日 時	5月5日	行事名	5月イベント食
	そら豆と昆布の炊き込みご飯、かつおのたたき、新じゃがの海苔塩バター、抹茶あんみつ、春キャベツの味噌汁			
4	日 時	6月15日	行事名	6月イベント食
	枝豆と小エビのかき揚げ丼、焼きナス、いんげんの梅しそ和え、フルーツ和え、味噌汁			
5	日 時	6月21日	行事名	わかくさいイベント食
	カップラーメン、カレイのみぞれ煮、ひじきの和風サラダ、漬物、フルーツ			
6	日 時	7月7日	行事名	7月イベント食
	七夕そうめん香味だれ、夏野菜の天ぷら盛り合わせ、冬瓜のくず煮風、黒蜜のゼリー			
7	日 時	7月30日	行事名	納涼祭
	焼きそば、やきとり、フランクフルト、おにぎり、豚汁、胡瓜漬け、かき氷、スイカ、ジュース			
8	日 時	8月10日	行事名	とわイベント食
	うなぎ蒲焼き、牛肉コロッケ、ビーフン炒め、漬物、フルーツ			
9	日 時	8月16日	行事名	8月イベント食
	夏のちらし寿司、野菜の揚げ浸し、キャベツのマヨ浸し、フルーツ、清汁			
10	日 時	9月14日	行事名	9月イベント食
	三種のきのこ御飯、秋サケの塩焼き、ほうれん草のお浸し、フルーツ、清汁			
11	日 時	9月17日	行事名	敬老会
	うなぎ散らし、天ぷら盛り合わせ、茶わん蒸し、清汁、ひよこ饅頭			
12	日 時	10月17日	行事名	10月イベント食
	秋のさつま芋御飯、揚げ魚のおろしポン酢、オクラと湯葉のお浸し、オレンジゼリー、秋ナスの味噌汁			
13	日 時	11月15日	行事名	11月イベント食
	小豆おこわ、霜月の天ぷら盛り合わせ紅葉おろし添え、春菊のお浸し、リンゴのコンポート、清汁			
14	日 時	12月24日	行事名	クリスマス会
	海老ドリア、ケンタッキー・フライド・チキン、コールスローサラダ、野菜スープ、ジュース、イチゴショートケーキ			
15	日 時	12月25日	行事名	12月イベント食
	エビピラフ、ハンバーグナポリタン添え、フレンチポテトサラダ、チョコババロア、コンソメスープ			
16	日 時	1月1日	行事名	1月イベント食
	彩りちらし寿司、炊き合わせ、おせち2種、フルーツ、清汁			
17	日 時	1月24日	行事名	とわイベント食
	焼きそば、お好み焼き、白身魚のフリッター、ごぼうの旨煮、漬物、フルーツ			
18	日 時	2月3日	行事名	2月イベント食
	ちらし寿司、イワシの松風焼き梅おろし添え、春菊のごまあえ、フルーツ、清汁			
19	日 時	3月3日	行事名	3月イベント食
	にぎり寿司、春の和え物、桃ゼリー、清汁			

(2) 栄養ケアマネジメント

① 栄養ケアカンファレンス(開催回数 14回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	1	2	18	1	0	18	1	1	20	0	1	19	82

《考察》

むベユニット入居者で状態低下により、食形態が刻み/ペーストの方が半数を占め、食事介助が必要となる方が増えた。また、今年度は行事食や甘味処の開催が少なく、食の楽しみの対応が出来なかった。職員による調理が難しくても、入居者の「食べたい」「美味しい」の声がもっと聞けるようにし、栄養状態の改善につなげていきたい。

3. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数(開催合計 24回)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	4	1	4	8	2	6	2	1	7	5	2	3	45

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	1	0	1	1	1	0	1	2	1	0	2	10

《考察》

前回同様、カンファレンスの日程調整が難しく、ゆっくり時間をかけられない時もあり、課題であったカンファレンスの内容の充実化を図ることも難しかった。その分、日常的にこまめにユニットに足を運び職員や入居者とコミュニケーションを図り、日常の様子や介護の状況など伺いながらニーズの把握に努めた。ユニットの環境だからこそできる個別ケアを行いながら生活の継続が出来るように、多職種連携して広い視野で状態把握を行いより良いプラン作成に繋げたい。

4. 委員会

(1) 委員会活動報告(以下はとわのみの委員会)

1	物品購入委員会(とわ)	今年度も極力在庫を抱え込まないよう努力する事が出来た。来年度も抱え込むことのないような発注をしていきたい。また、物品倉庫の整理整頓を心掛ける。
2	運営推進委員会(とわ)	前年同様、委員会への参加が出来なかった。
3	リハビリ委員会(とわ)	YouTube を利用しての体操が多かったが、作業療法士と連携してリハビリを行えた点良かった。来年度は少しでも個々のリハビリが出来るよう時間を取れるようにしたい。
4	とわ菜園委員会(とわ)	入居者と野菜を植え、収穫し調理して食べる事が出来て良かった。来年度も継続していきたい。

(2) 行事報告

月	日	内 容	参加者			
			入居者	職員	その他	合計
11	22,26	紅葉ドライブ	9	6	0	15
12	19,20	イルミネーションドライブ	8	3	0	11
2	3	節分	20	6	0	26

《考察》

・従来型と連携し会議を行う事が出来たが、活動量が少ない委員会もあったため、来年度は積極的に委員会活動を進めるようにする。
 ・日々の業務に追われてしまい、施設内外のイベントが少なかった。そんな中でも、とわ菜園を通し、日光を浴び、外の空気を吸い、気分転換を図ることが出来た点は良かったので来年度も継続していきたい。

5. ユニット費

① わかくさ

月平均額	年間累計
12,038	144,459

- ・昨年同様に日用品の購入が多くなってしまった。
- ・もう少し行事やレクを増やし、ユニット費を使用していきたいと思う。

② むベ

月平均額	年間累計
11,831	141,970

- ・昨年と同様に日用品の購入が多かった。
- ・入居者の楽しめるようなイベントやインテリアでの使用していきたい。

飛羽ノ園デイサービスセンター指定通所介護事業所
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 25 名)

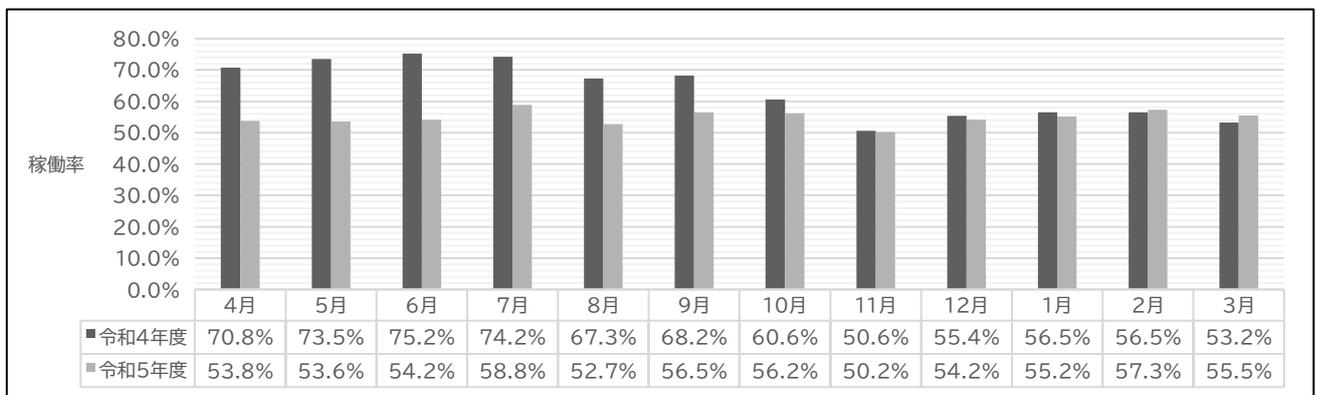
1. 運営

新規利用の増加が少なく、外部のケアマネジャーへ空き状況や広報誌、実績報告時に営業を行うほか、コロナウイルス感染症が5類へと移行されたことで、これまで控えていたレクリエーション、買い物ドライブなどの外出行事の充実化、飛羽ノ園のメモ帳を製作し、各事業所へ配布するなど新たな取り組みを行ってきた。営業の成果としては、空き状況の確認や体験利用依頼がくるなどの成果が見られた。しかし、利用者の継続した確保には繋がらず、稼働率は思ったように上昇できなかった。理由としてはコロナウイルス感染症による長期による休みや他体調不良による当日キャンセル、施設入所、入院による利用中止者などが考えられる。新規利用者獲得に向けて、ケアマネジャーとの関係作りと特色を活かした運営が課題となっている。

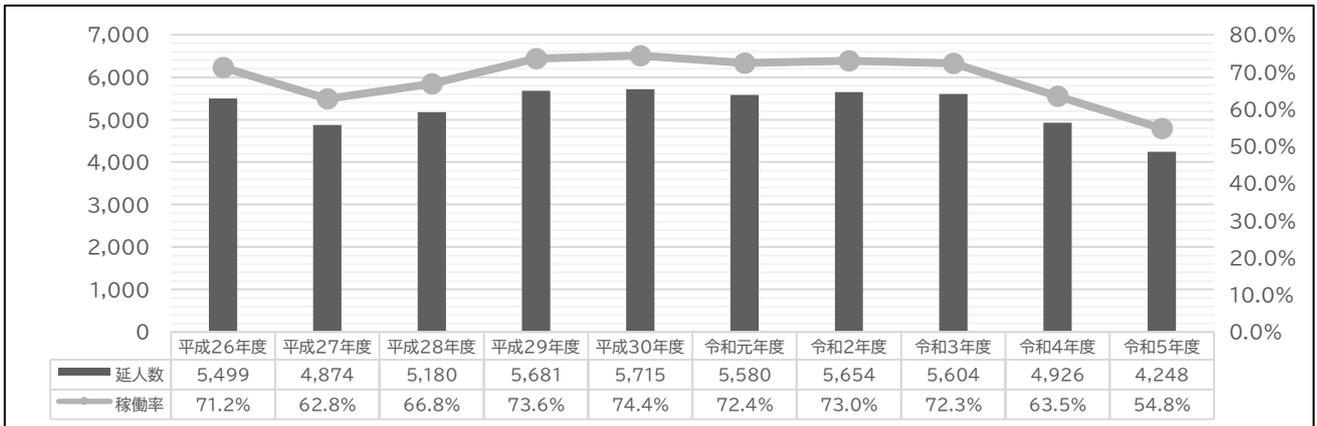
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運営日数(日)	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
実人数(名)	40	40	37	42	39	40	39	40	37	40	40	41	475
延人数(名)	336	362	352	382	356	367	365	326	352	331	358	361	4,248

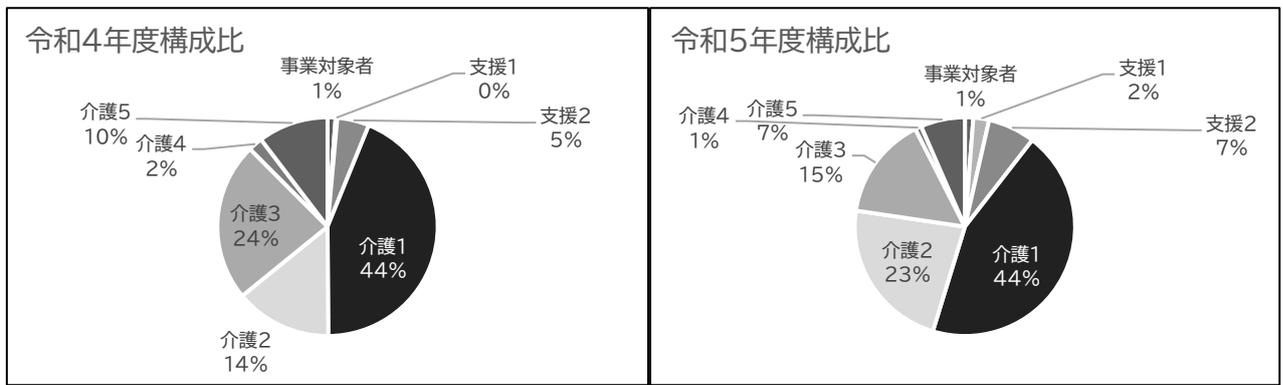


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和4年度	58	12	231	2,157	699	1,157	104	508	4,926
令和5年度	52	98	295	1,879	962	646	40	276	4,248



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組み

相談援助として、可能な限りその日の内に電話及び訪問で対応し、丁寧かつ迅速な援助に努めた。

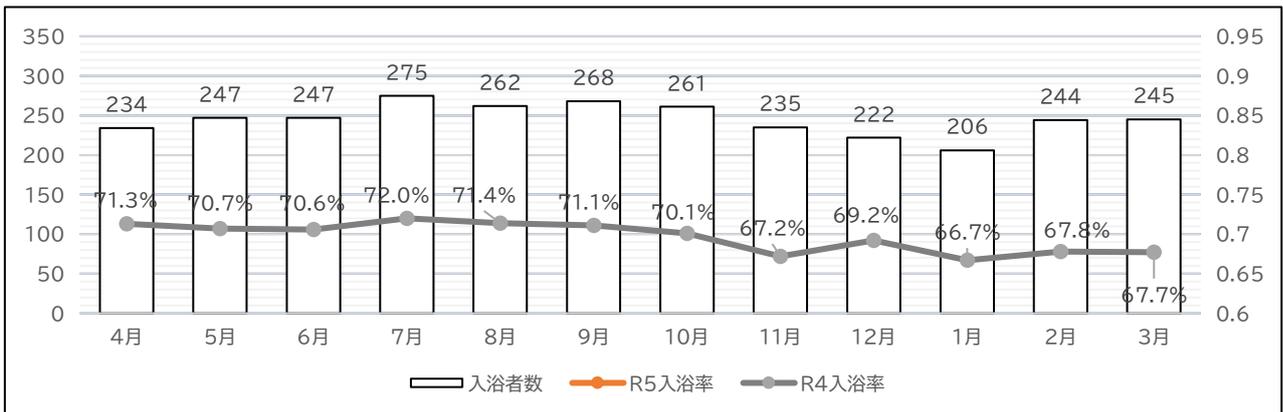
月に一度のヒヤリハット・事故報告事例検討会などで、困難事例等検討した。デイ会議や起案・報告提出を担当制にしたり、デイ会議では月ごとにテーマを決め、話し合いを行った。不安なく利用者が過ごせるよう、職員と利用者、家族も含めて信頼関係づくりを意識した。常に外部関係機関との情報共有にも努め、利用しやすい環境を整えた。

(2) 通所介護・介護予防通所事業計画書作成

多職種間で利用者一人ひとりの情報を共有し、その方の身体状況を把握したケアプランの作成・実施・評価を行なった。内容に変更が見られた際は、都度、介護職や看護職と検討会を開き、ケアマネジャーへ状況報告を行ない、更新している。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

個浴など活用し、その方にあった方法で安全に入浴介助を提供した。季節に合わせたお楽しみ風呂の提供(ゆず湯等)も実施し、大変好評だった。次年度は、菖蒲湯なども実施していきたい。



(4) 食事サービス

季節の行事に合わせた行事食と定期的な選択食を実施した。おやつには焼き芋や手作りおやつイベント(柏餅・桜餅)を4回実施し、利用者からは大変好評だった。その他、利用者からあげられた意見(ご飯のかたさ、味付け等)は毎月給食担当者に伝え、改善された点も多く、利用者からは美味しくなったとの意見も一部頂けた。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

前年同様、利用者個々の状態に合わせた排泄介助を行なった。頻尿の訴えのある利用者や、歩行不安定の利用者は都度、トイレまで付き添い対応している。オムツ交換が必要な利用者は、指導職員と新人職員で定時に交換し、介護技術の向上に努めた。

(6) レクリエーション・行事

5月より、コロナウイルス感染症が一般的な感染症が分類されている5類へ移行されたこともあり、外出行事を増やす事が出来た。レクリエーション・行事内容によっては、感染対策から制限されてしまうこともあったが、その環境の中でもできる事を最大限に活用し、利用者に満足していただけるよう努めた。創作活動を積極的に行い、個人の作品をホール、廊下に展示することで、楽しみや生きがいを感じて制作していた。訪問販売を依頼するなど新しい試みも行なった。

【レクリエーション実施状況(回数)】

絵心クイズ	11	飾り作り	16	漢字の足し算	11	カーリング	16	ドミノ倒し	3
いつでも誰が?	2	大人の学校	16	言葉の階段	11	言葉探し	8	ゲートボール	2
言葉の並びかえ	22	俳句	7	ビンゴ	9	輪投げ	12	歌詞穴埋め	1
漢字当てクイズ	16	クロスワードパズル	22	ポーリング	24	タワー倒し	6	替え歌	2
〇〇と言えば	9	文字入れクイズ	20	ちよんちよんゲーム	19	計 23 種類		265	

【行事実施状況(回数)】

水郷公園散歩	3	夏祭り	2	パンケーキ作り	2	クリスマス会	2	初詣ドライブ	6	出前食	2
柏餅作り	2	敬老週間	5	紅葉ドライブ	6	餅つき	1	節分	1	買い物会	9
カーネーション作り	2	桜餅作り	2	訪問販売	1	計 15 種類				計 46 回	

(7)個別機能訓練(介護)・運動器機能向上(第一号通所事業)サービス

利用者一人ひとりに機能訓練向上計画をたて、三ヶ月に一度目標に応じ作業療法士と共同し、機能訓練に努めた。利用者に合わせた自立支援を目指したサービスを提供した。介護職員とも共同し、廊下やホールにて定期的な歩行訓練の実施、生活リハビリとして排泄や入浴時等日常的に立位保持の機会を持つことで、筋力維持が図られ、ADL や基本動作の維持向上に繋がった。個々の現在の身体機能の状態確認やADLの遂行状態を確認しながら個々に合ったリハビリを実施できた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
機能訓練(名)	240	266	226	243	236	266	232	218	101	40	41	166	2,275
運動器機(名)	32	31	27	27	32	33	31	33	14	5	6	23	294
合計	272	297	253	270	268	299	263	251	115	45	47	189	2,569

(8)送迎サービス

乗車時、酔いや暑い方や長時間乗車による利用者の疲労軽減と業務の効率化に努めた。利用者・家族の希望を聞きながら、送迎の見直しを随時実施した。

【送迎状況(回数)】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
迎え (減算)	336 (0)	362 (0)	352 (0)	381 (1)	356 (0)	365 (2)	362 (3)	326 (0)	350 (2)	331 (0)	356 (2)	359 (2)	4,236 (12)
送り (減算)	324 (11)	343 (18)	335 (17)	380 (2)	356 (0)	367 (0)	365 (0)	326 (0)	352 (0)	329 (2)	358 (0)	360 (1)	4,195 (51)
延回数 (減算)	660 (11)	705 (18)	687 (17)	761 (3)	712 (0)	732 (2)	727 (3)	652 (0)	702 (2)	660 (2)	714 (2)	719 (3)	8,431 (63)

【送迎車両走行距離(km)】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ハイース	346	608	346	408	503	479	441	750	475	459	432	436	5,683
ステップガン	501	494	522	538	481	421	542	551	553	530	475	495	6,103
ヴォクシー	464	409	440	570	350	405	537	433	482	430	452	505	5,477
タント(デイ)	690	1,255	604	652	478	592	652	588	430	468	394	501	7,304
タント(居)	546	443	437	489	417	407	459	380	487	417	375	361	5,218
タント(特)	613	510	622	751	587	512	686	481	581	517	468	646	6,974
アルトバン	50	129	77	124	87	130	151	120	135	90	93	134	1,320
ハイゼット	197	280	214	272	91	258	333	363	227	174	245	323	2,977
合計	3,407	4,128	3,262	3,804	2,994	3,204	3,801	3,666	3,370	3,085	2,934	3,401	41,056

(9)看護報告(処置集計報告)

毎日のバイタル測定その他、月に一度の体重測定や希望時の体重測定、食事量のチェック、内服薬の確認や介助、排泄介助、入浴介助などあらゆる場面において利用者の状態把握に努めた。体調不良時には、家族やケアマジャーに連絡し、介護記録に記載して介護職員と情報共有した。利用者家族の希望に沿い、軟膏や湿布・点眼・処置・爪切りも実施した。昨年同様、感染予防対策を強化徹底し、手洗い・消毒・換気・マスクの着用・ホール内消毒を行なった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
爪切り	6	8	8	5	5	3	10	5	5	7	10	11	83
軟膏塗布	148	182	179	98	196	73	103	97	84	78	76	96	1,410
点眼	5	5	5	25	22	7	5	12	4	4	4	4	102
内服薬	181	210	243	162	124	139	175	154	142	151	155	163	1,999
体重測定	42	41	40	44	45	44	42	41	40	43	43	41	506
湿布	24	32	36	30	30	37	29	24	30	29	25	24	350
ガーゼ	7	30	30	30	30	28	26	11	4	4	4	4	208
インシュリン	14	14	13	13	13	14	10	13	13	13	13	15	158
合計	427	522	554	407	465	345	400	357	322	329	330	358	4,816

(10)事故・ヒヤリハット報告

今年度は、職員によるミスや不適切な言動のヒヤリハットや事故が目立つ結果となった。損害賠償ケースは無かったが、一つひとつ意識した対応を行なえば防げた内容ばかりだった。私物を返し忘れてしまう、トイレに入る際に確認せずいきなりドアを開けてしまう、停止時車椅子のブレーキを忘れてしまう、リフト固定する際のシートベルト・ワイヤーロック忘れなど、相談員・副主任から都度指導し、改善が見られた部分はあるが、同じミスを繰り返してしまう部分が多くみられた。その為、来年度は職員一人ひとりの成長に合わせた指導・育成に努める。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
ふらつき転倒ずり落ち	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	4
内出血・傷あり、なし	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	3
異食・誤嚥	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
利用者の急変	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者間のトラブル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

車両関係	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
送迎時トラブル・事故	0	0	0	3	1	2	0	0	1	0	1	1	9
浴室内事故・トラブル	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
内服薬	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
利用者の暴力・暴言	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
職員ミス・不適切行動	0	0	2	6	1	2	1	2	1	0	0	0	15
私物入れ間違い・忘れ	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
備品物損	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
合計	0	0	6	13	4	5	2	6	6	1	1	3	47

(11)地域連携・貢献活動(介護予防教室等)

今年度は在支職員と協力し、公民館にて介護予防教室に参加することが出来た。来年度も継続して地域との関わり増やしていく。地域交流としては桜川保育園の園児達に利用者が作成したペン立てと数字パズルを卒園のお祝いとして贈ることができた。利用者から直接手渡し、交流を深めることができた。

(12)実習生・ボランティア受入

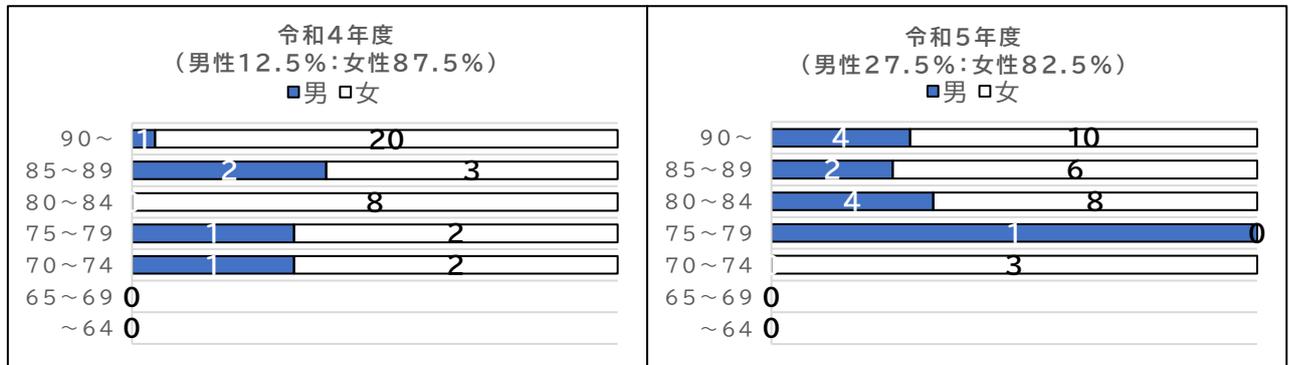
今年度より、積極的にボランティアを受け入れた。夏祭りや敬老週間などの行事の日意外にも歌や日本舞踊の方々に来園していただき、利用者は大変喜ばれていた。5月～6月にかけてアール医療福祉専門学校より、実習生2名を受け入れた。

4. 利用者状況

(1)登録利用者

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
R5	登録者数	41	41	39	43	45	44	43	43	43	45	44	45	516
	新規利用者	3	0	1	5	2	0	2	1	3	3	0	1	21
	利用終了者	1	0	4	0	1	3	0	3	2	0	1	0	15
R4	登録者数	48	50	50	50	51	50	47	38	38	40	37	38	583
	新規利用者	0	3	1	2	2	0	1	1	1	2	1	4	18
	利用終了者	1	0	3	0	1	4	3	7	1	3	1	2	26

(2)利用者年齢構成



(3)町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和5年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
霞ヶ岡	4	大岩田	5	富士崎	4	上高津	2	滝田	1
烏山	4	小松ヶ丘	1	下高津	2	小岩田東	1	右糒	1
桜ヶ丘	1	国分町	2	港町	1	真鍋	1	永国台	1
小松	6	中高津	3	西根南	1	合計			41

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
者数	2	1	1	23	0	14	0	0	0	41

飛羽ノ園指定居宅介護支援事業所

1. 居宅介護支援事業所運営体制

4月から、主任介護支援専門員 2 名、介護支援専門員 2 名の体制となり、特定事業所加算Ⅱを算定し運営。また、介護支援専門員実務研修の実習生1名の受け入れも行った。

感染予防を継続しながら、訪問を行い、コロナ前の業務に戻ることができた。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	89	86	88	89	89	90	94	92	89	86	87	88	1,067
市外	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	4
合計	89	86	88	89	89	91	94	93	90	86	87	89	1,071

令和 5 年度の介護プラン実施者の新規依頼が月に平均3~4件あったが、終了となるケースも同程度あった。寒暖差の影響からか体調不良者も多くおり、入退院も多い年であった。また、契約はしたが、サービスに結びつかないケースもあった。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
うらら	21	22	21	20	20	21	21	20	20	19	19	20	244
かんだつ	0	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	13

要介護から要支援になる利用者や新規の依頼があり、約 1.25 倍増加している。

<居宅サービス契約者介護度別延べ件数・前年度との比較>

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
R4年度	0	100	118	582	306	124	73	55	1,358
R5年度	1	116	140	625	238	117	63	28	1,328

要支援の利用者が増加。要介護1の依頼が多くあり、介護度の高い人の依頼は減少傾向。要介護度が高くなると、すぐに施設入所や永眠により支援終了となるケースが多くみられ、継続した支援につながらない場合がある。

3. 認定調査

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
土浦市	2	7	2	9	10	7	5	5	7	8	6	5	73
県外	1	3	0	1	4	3	2	1	2	2	1	1	21

認定更新の際、コロナに係る要介護認定の臨時的な措置制度が終了したことで、昨年より、土浦市の調査は3倍となった。また、介護支援専門員1名増員となったため、県外からの委託も再開することができた。

4. 研修

地域ケア会議	
5月25日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
7月27日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
9月28日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
11月30日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
1月25日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
3月28日	新治地区ふれあい調整会議 (新治地区公民館)
合同事例検討会	
10月16日	合同事例検討会:烏山診療所居宅・虹参加 (飛羽ノ園)
介護支援専門員:更新研修	
7月28日~ 12月21日	主任更新 左記の9日間 (YouTube・Zoom) 岸本
その他	
4月21日	土浦市医師会グループ化推進事業(土浦市医師会館)
5月19日	土浦ケアマネジャー研究会 総会(Zoom)
5月28日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症(サポートセンター)
7月14日	土浦かすみがうら地区総会・研修会 「人生100年時代、フレイル予防の為に運動とこころの健康」(新治地区公民館)

8月17日	つちう Labo「事例紹介から学ぶ！退院時の在宅移行支援」(土浦市役所)
9月7日	普通救命講習会:AED (土浦消防本部)
9月9日	霞ヶ浦南岸地区会実践研修「これで安心BCP現実版 パワーハラスメント予防と対応支援」(Zoom)
9月13日	法人内ケアマネ研修:認知症・プライバシー・倫理(サポートセンター)
9月14日	JPTEC外傷講習会(土浦消防本部)
9月20日	サービス担当者会議の取説①(Zoom)
10月4日	地域包括支援センターかんだつ研修会「おひとり様の終活～ケアマネジャー実務の視点(前編)～」(二中地区公民館)
10月13日	サービス担当者会議の取説②(Zoom)
10月18日	令和5年度認定調査員現任研修(Zoom)
10月26日	つちう Labo「在宅療養・看取りの支援」(土浦消防本部)
10月31日	地域包括支援センターうらら研修「おひとり様の終活～ケアマネジャー実務の視点(後編)～」(二中地区公民館)
11月8日	土浦ケアマネジャー研究会「適切なケアマネジメント・BCP・ACP・権利擁護等」(Zoom)
12月11日	特定事業所向け説明会:実務研修実習受け入れについて(Zoom)
12月12日	つくばケアマネジャー連絡会:適切なケアマネジメントの手法(つくば市役所)
12月13日	法人内ケアマネ研修:虐待・BCP・感染症(サポートセンター)
2月26日	介護報酬改定について(Zoom)
2月27日	介護報酬改定への対応について(Zoom)
3月12日	令和6年度介護予防支援ケアマネジメント業務委託事業所説明会(四中地区公民館)
3月20日	「適切なケアマネジメントの手法」の手引きその2解説セミナー(Zoom)
3月25日	土浦ケアマネジャー研究会:役員会(土浦市役所)
3月29日	報酬改定があっても変わらない！～ニーズ抽出・目標設定の具体策ケアマネジメントの質の向上と効率化の両立を図る！～ 令和6年度介護保険報酬改定のポイント～居宅介護支援を中心に～(Zoom)

土浦市在宅介護支援センター飛羽ノ園
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(四中地区担当)

1. 特別業務

状況	件数	状況	件数	状況	件数
(1)台帳作成	118	(2)緊急通報	11	(3)配食サービス	7

前年度の合計件数が 114件であり22件の増加。台帳作成に関しては30件の増加。新規作成は 57件で前年度と比較すると13件増加している。市や地域包括支援センターからの訪問依頼、家族や民生委員から直接相談があったことで増加となった。緊急通報システム業務件数は変化なし。配食サービスの業務件数は 8 件の減少であった。

2. 相談

(方法×続柄集計)

続柄		本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
業務時間	電話	50	27	18	54	32	7	16	0	204
	来所	3	1	0	0	0	0	2	0	6
	訪問	271	10	5	0	0	0	1	0	287
時間外	電話	0	2	1	0	0	0	2	0	5
	来所	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	訪問	3	0	0	0	0	0	0	0	3
合計		327	40	24	54	32	7	22	0	506

前年度の相談数合計 580 件と比較すると74件の減少。コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行され、訪問対応がスムーズに行えるようになったことで、電話での相談が大幅に減少となった。そのため訪問相談は前年度より増加傾向にある。

電話での見守りも多くあったが詐欺等も増えているため、訪問し顔が見えることで対象者が安心して相談できる状況となった。また早期に状況把握が行え、要援護者の発見にも繋がった。

(相談区分×続柄集計)

相談区分	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援	36	8	2	6	4	4	5	0	65
(2)介護保険制度	64	15	4	3	15	3	3	0	107
(3)福祉サービス	76	8	14	36	3	2	9	0	148
(4)保健・医療	131	12	5	3	8	1	6	0	166
(5)経済・住まい	17	3	3	0	2	0	4	1	30
(6)地域の困りごと	3	0	0	3	0	0	0	1	7
(7)その他	260	19	5	2	13	2	7	0	308
(8)二次予防事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10)ケアマネジャー支援	3	0	0	0	0	0	0	0	3
(11)認知症関係	50	9	3	3	8	5	4	1	83
合計	640	74	36	56	53	17	38	3	917

前年度と比較し全体的に減少傾向にあるが、(1)家族の支援、(2)介護保険制度、(6)地域の困りごとに増加傾向がみられる。(1)は認知症や虚弱高齢者等、制度では対応できない部分で家族の支援となった。(2)は身体機能の低下が大半だが、コロナ禍で家族の見守りや支援等が困難な状況であったことから、自立した方が施設入所を希望される相談が増えた。(6)の要因は家族の関わりが薄く、また複雑化しているケースが多く見られた。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1)ふれあい調整会議	5
(2)スクラムネット会議	12
(3)その他(在支連絡調整会議等)	26
合計	43

今年度、在支連絡調整会議では市や関係機関との意見交換が設けられ共通認識ができた。コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し、業務に係る対応が原則訪問となったが、引き続き感染予防に努めていく。スクラムネット会議やふれあい調整会議では、支援困難なケースについて、多職種の様々な方々から意見を頂き支援の参考になった。また個々に対応していた関係機関や地域の支援者とのケア会議を開催し、情報共有し連携して支援をすることができた。

4. 動向と考察

コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行し訪問活動が増えたため、要支援者の早期発見となり対応がスムーズに行えたケースがあった。また近年、詐欺等が多発していることから電話での対応では不安になる高齢者が多いため、訪問をして直接お話することで不安軽減にも繋がり状況も把握しやすかった。

高齢者クラブ等の地域活動が再開し交流の機会が設けられた。今後も高齢者の相談窓口として在宅介護支援センターの周知をすると共に地域との関わりを深めていきたい。またコロナ禍が長期化したことで閉じこもりがちとなり介護サービスを利用する高齢者も多くおられたので、介護予防の必要性も伝えていきたい。

令和5年度

事業報告
社会福祉法人 祥風会

特養養護老人ホーム
デイサービス
居宅介護支援事業所
土浦市在宅介護支援センター

憩いの里

理事長 羽鳥 圭一
施設長 和田 宏一

〒300-4117 土浦市高岡2315
T E L 029-829-3030
F A X 029-829-3031
U R L <https://showfukai.com>
E-Mail ikoinosato@showfukai.com

特別養護老人ホーム憩いの里
介護老人福祉施設・短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護

【1】運営(運営方針に対する報告)

1. 介護福祉施設

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類移行したことに伴い、感染対策とコロナ禍以前の施設運営の状態に戻せるかを考えながら取り組んだ1年となった。入居者の外出ニーズ(観光、外食)に応え企画実行し、施設全体で開催する3大行事も家族を招いた形で再開した。納涼祭を皮切りに、敬老会、クリスマス会へ家族も参加していただき一緒に楽しめるよう、感染対策を講じ工夫し開催することができた。行事終了後は体調観察を行い、早期発見・早期対応を意識し行動する事ができ、結果行事に関連した感染者が出ることはなかった。また、面会に関してもニーズに沿うよう工夫し実行した。時間制限や面会スペースを設け、年間を通じ入居者、家族が対面で面会を行うことができた。入居者、家族の繋がりを意識し、「当たり前の生活」に近づけた1年だったと振り返る。また職員も成功体験を繰り返す事により、過剰な感染への恐怖から脱却できたと考える。その一方で課題も残った。地域交流や、面会者年齢制限(中学生以下は面会禁止)など、運営方針である個々の「当たり前の生活」の実現には、入居者の感染対策とのバランスや更なる工夫と関係者の理解が必要だと考えた。

<重点目標>

① 入居者を知る

入居者を知る為のツールの確認を行い、「居室担当制」の導入を進めた。コロナ禍の影響で家族と接する機会が減ったが、来園時や電話連絡にて情報を聴き、入居者を知るきっかけづくりになっている。主にユニットリーダーが家族連絡の役割を担っているが、今後は一般介護職員、看護、事務、相談員が協働しコミュニケーションが取れるよう体制整備を進めていきたい。

② 記録・入浴に重点を置いた業務の見直し

記録・入浴については前年度に統一した書式を活用し、ゆとりを持った介護を行った。しかしユニット単位での入浴体制では、職員の急な休みがあることで入浴予定変更を余儀なくされることがあり、入居者の生活への影響があった。年度末に新館のリフト浴用シャワーキャリーを導入できたことで、ユニット毎に効率的に入浴を行うことができるような整備が進んだ。

③ ノーリフティングケアの推進

ノーリフティングケアを推進するため、今年度はスライディングボードを4枚追加導入し、入居者の移乗介助時に積極的に用具を使用し入居者、職員双方が安心安楽に業務遂行できるよう変化してきている。また、勉強会を開催しノーリフティングケアを勧めることの必要性や腰痛予防についての啓発をすることができた。今後も委員会を中心に入居者・職員共に安楽かつ安全になる移乗介助等の用具を整え、ケアの質向上と職員離職・休職予防(腰痛による)に役立てたい。

2. 短期入居・介護予防短期入居生活介護

相談員が2名体制になり、よりスムーズな実態調査・担当ケアマネジャーとの連携が図れた。稼働率に関しても入居・ショートともに上昇している。令和4年度は定期利用者の希望が多くみられたが、令和5年度はロングショート利用希望が増加した。施設方針として本来のサービス形態(ショートステイニーズ)に重きを置き、定期利用者の受け入れを多く行いロング枠を抑えて(3名程度)調整してきた。本人、家族ニーズ、緊急性を考慮しつつも長期的な視点で稼働率安定に繋がる対応ができたと考える。

3. 稼働率報告

種別	入居		ショートステイ	
	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度
年間ベッド数(最大)	25,550	25,620	3,650	3,660
延べ人数	23,877	25,272	2,511	2,789
稼働率(%)	93.5	98.6	68.8	76.2

【2】事業実績(主に数値的な報告)

1. 入居者推移・実数

(1) 入退居者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	前年度
入居	3	3	2	1	3	2	1	2	2	1	0	2	22	28
退居	0	2	0	2	2	2	1	3	1	1	0	3	17	34

(2) 入居・退居経路

入居経路		退居経路	
居宅(小規模多機能含む)	18	永眠(施設内)	15
病院	1	永眠(搬送先)	0
老健	3	居宅	2
特養	0	特養	0
合計	22	合計	17
前年度計	28	前年度計	34

(3)要介護度別 ※令和 5 年 3 月 31 日現在

要介護度	性別		人数計(名)	前年度人数(名)	前年度増減
	男性	女性			
1	0	0	0	0	±0
2	3	5	8	3	+5
3	8	27	35	32	+3
4	6	16	22	21	+1
5	0	7	7	9	△2
合計	17	55	72	65	+7
平均要介護度	3.2	3.5	3.4	3.6	△0.2

(4)年齢構成 ※令和 5 年 3 月 31 日現在

年齢(歳)		~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~	合計
特養(名)	男性	0	0	1	2	2	5	7	17
	女性	0	0	1	2	7	14	28	52
合計		0	0	2	4	9	19	35	69
前年度		0	1	3	3	11	18	28	64

(5)入居者要介護度別利用状況

①特養

月	要介護度	1	2	3	4	5	合計
4	実人数 (延人数)	0(0)	5(150)	33(976)	19(570)	10(277)	67(1,973)
5		0(0)	6(186)	33(995)	20(595)	11(321)	70(2,097)
6		1(30)	5(150)	34(997)	20(593)	10(300)	70(2,070)
7		1(31)	6(171)	34(1,054)	20(603)	10(310)	71(2,169)
8		1(31)	6(186)	36(1,108)	19(550)	10(281)	72(2,156)
9		1(30)	6(155)	36(1,080)	20(562)	9(270)	72(2,097)
10		1(31)	5(155)	34(1,054)	21(639)	9(279)	70(2,158)
11		1(30)	6(180)	35(1,017)	21(587)	9(270)	72(2,084)
12		1(31)	6(186)	35(1,068)	19(589)	10(286)	71(2,160)
1		1(31)	7(217)	34(1,027)	19(589)	9(267)	70(2,131)
2		0(0)	7(203)	37(1,073)	18(522)	8(232)	70(2,030)
3		0(0)	8(248)	35(1,078)	22(619)	7(202)	72(2,147)
R5		8(245)	73(2,187)	416(12,527)	238(7,018)	112(3,295)	847(25,272)
R4		0(0)	48(1,435)	344(10,101)	291(8,481)	136(3,860)	819(23,877)

《考察》

相談員 2 名体制になったことで、スムーズに実調予定を組め、家族とのやりとりもスピーディーに行えた。およそ1年続いて空床有も 7 月には満床となり、その後は大きな変動なく安定し推移している。新しく入居する方はデイサービス入口としてショートステイを利用し特養入居と繋がるケースが多くなっている。今後もこの流れを維持できるようにしていきたい。

(6)短期入居生活介護・介護予防短期入居生活介護

月	要介護度	支援 1	支援 2	介護 1	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	合計
4	実人数 (延人数)	0(0)	0(0)	4(25)	6(66)	4(75)	2(40)	0(0)	16(206)
5		0(0)	0(0)	4(25)	8(70)	5(93)	2(15)	0(0)	19(203)
6		0(0)	0(0)	5(33)	9(66)	6(112)	2(34)	0(0)	22(245)
7		0(0)	0(0)	3(17)	8(79)	10(135)	2(42)	0(0)	23(273)
8		0(0)	0(0)	3(16)	7(67)	10(88)	3(66)	0(0)	23(237)
9		0(0)	0(0)	1(3)	7(84)	8(74)	4(64)	0(0)	20(225)
10		0(0)	0(0)	0(0)	6(59)	9(95)	4(40)	1(15)	20(209)
11		0(0)	0(0)	0(0)	6(58)	10(107)	4(39)	1(30)	21(234)
12		0(0)	0(0)	2(29)	3(34)	7(110)	4(65)	2(3)	18(241)
1		0(0)	0(0)	1(4)	4(46)	6(115)	5(73)	1(10)	17(248)
2		0(0)	0(0)	0(0)	2(19)	6(100)	8(78)	1(9)	17(206)
3		0(0)	0(0)	2(10)	4(31)	6(102)	9(105)	1(14)	22(262)
R5		0(0)	0(0)	25(162)	70(679)	87(1,199)	40(661)	7(81)	229(2,789)
R4		2(29)	0(0)	30(114)	74(870)	66(1,175)	19(235)	10(88)	201(2,511)

《考察》

令和 5 年度は感染対策をしっかりと行うことでコロナ感染者を出すことなく、ショートステイ運営を行うことができた。新規利用者の増加はあったが、ニーズとベッドコントロールがうまくいかず目標値までの稼働率上昇とはならなかった。

2. 医務

(1)MMSE 実施状況 ※30 点満点中 23 点以下は認知症の可能性が高いと言われている(診断結果は参考)

年齢(歳)	性別	点数							合計
		0	1~5	6~10	11~15	16~20	21~25	26~30	
~64	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
65~69	男	0	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	0	0	0	0
70~74	男	0	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	0	0	0	0	0	1	1
75~79	男	1	0	0	0	1	0	0	2
	女	0	1	0	0	0	1	0	2
80~84	男	0	0	1	0	1	0	1	3
	女	1	1	0	3	0	2	1	8
85~89	男	0	0	0	0	2	1	0	3
	女	3	0	2	2	2	5	1	15
90~94	男	0	0	1	1	0	2	0	4
	女	4	2	3	5	3	1	1	19
95~	男	1	0	0	2	0	0	0	3
	女	0	0	2	3	0	4	0	9
合計		10	4	9	16	9	17	5	70

(2)日常生活状況(ADL の状況)※令和 5 年 3 月 31 日現在

①あじさい

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	8	0	0	2	6	0	1	3	4	1	3	4
R4 年度	7	1	0	4	4	0	1	5	2	4	2	2
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	6	2	0	8	0	0	2	3	0	1	2	0
R4 年度	1	2	0	8	0	0	3	2	0	1	2	0

②りんどう

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	7	1	2	1	4	5	1	6	3	1	6	3
R4 年度	7	3	0	1	7	2	0	7	3	3	4	3
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	1	6	3	6	1	3	2	1	0	2	1	4
R4 年度	6	2	2	8	0	2	4	0	0	4	0	2

③つつじ

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	8	2	0	4	6	0	0	8	2	2	6	2
R4 年度	7	0	2	6	2	1	0	8	1	2	6	1
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	7	3	0	8	1	1	4	0	0	2	2	2
R4 年度	7	1	1	7	1	1	4	1	0	3	0	1

④カンナ

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	7	1	2	1	7	2	0	3	7	1	2	7
R4 年度	7	1	1	2	3	4	0	2	7	2	2	4
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5 年度	4	4	2	6	2	2	3	0	0	3	0	4
R4 年度	6	2	1	7	1	1	1	3	0	3	0	2

⑤ひまわり

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	9	0	1	4	5	1	3	6	1	3	6	1
R4年度	8	1	1	4	4	2	4	4	2	4	4	2
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	5	3	2	7	2	1	2	0	0	5	1	2
R4年度	5	3	2	7	2	1	3	0	0	4	1	1

⑥ばら

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	9	1	0	5	4	1	0	8	2	0	8	2
R4年度	6	2	2	2	5	3	0	6	4	0	6	4
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	7	2	1	10	0	0	3	0	0	5	1	1
R4年度	2	6	1	4	4	2	0	1	0	5	0	3

⑦すいせん

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	8	1	1	2	7	1	0	9	1	0	9	1
R4年度	9	0	1	2	6	2	1	4	5	1	7	2
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	4	5	1	4	5	1	3	1	0	2	3	1
R4年度	3	5	2	8	1	1	3	0	0	6	1	1

⑧コスモス

区分	食事			排泄			入浴			着脱		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	4	5	1	3	5	2	0	8	2	3	5	2
R4年度	5	1	3	2	1	6	2	1	6	2	2	5
区分	移乗			寝返り			移動(歩行)			移動(車いす)		
	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助	自立	一部介助	全介助
R5年度	4	4	2	4	4	2	3	0	0	2	3	2
R4年度	2	5	2	3	4	2	2	0	0	0	1	6

(3)処置・看護記録集計(ショートステイ含む)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
点眼	15	15	15	15	15	17	18	19	20	21	21	21	212
処置	149	133	209	118	170	114	114	139	185	146	207	183	1,867
軟膏・湿布	28	28	28	28	28	30	31	32	33	34	34	34	368
テープ	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3	38
救急対応	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
お看取り	0	2	0	2	1	3	0	2	1	0	0	1	12

(4)他科受診年間状況

受診科名	眼科	内科	整形外科	皮膚科	リウマチ	総合診	その他
延人数	29	492	11	7	0	2	9
受診科名	外科	循環器	訪問歯科	脳神経外科	呼吸器科	消化器	合計
延人数	0	23	405	3	2	14	997

(5)入浴実施状況

①あじさい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	66	80	71	82	73	67	65	70	79	80	66	72	871
特浴	0	0	0	0	0	2	2	5	2	0	0	0	11
清拭	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	66	80	71	82	74	69	67	75	81	80	66	72	882

②りんどう

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	65	69	65	67	71	67	66	69	59	56	47	57	758
特浴	14	18	16	16	16	16	16	18	25	26	20	24	225
清拭	0	0	0	0	0	4	0	1	0	0	1	0	6
合計	79	87	81	83	87	87	82	88	84	82	68	81	989

③つつじ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	65	76	79	75	98	80	87	66	67	78	78	83	932
特浴	8	3	6	5	0	0	0	0	0	0	0	0	22
清拭	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	4
合計	73	79	87	82	98	80	87	66	67	78	78	83	958

④カンナ

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	63	73	67	63	67	69	58	64	71	72	58	68	793
特浴	6	12	14	10	18	12	15	13	12	12	12	16	152
清拭	1	0	0	2	4	2	7	2	1	5	6	0	30
合計	70	85	81	75	89	83	80	79	84	89	76	84	975

⑤ひまわり

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	63	72	71	68	63	71	70	69	72	74	67	81	841
特浴	18	16	16	16	20	16	16	14	16	16	15	9	188
清拭	1	2	0	0	1	2	0	2	0	0	0	0	8
合計	82	90	87	84	84	89	86	85	88	90	82	90	1,037

⑥ばら

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	53	70	70	68	71	68	65	74	77	72	76	77	841
特浴	17	9	14	19	18	11	14	7	9	9	8	8	143
清拭	2	3	0	0	0	7	0	1	0	1	0	1	15
合計	72	82	84	87	89	86	79	82	86	82	84	86	999

⑦すいせん

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	69	67	69	71	72	46	67	64	70	65	61	80	801
特浴	16	20	16	18	16	8	17	14	16	10	16	12	179
清拭	0	3	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	7
合計	85	90	85	91	88	54	84	78	87	75	78	92	987

⑧コスモス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
個浴	51	64	63	60	63	56	59	54	63	63	64	59	719
特浴	21	17	17	19	27	15	24	27	16	11	13	20	227
清拭	0	0	0	4	0	7	1	1	0	1	0	1	15
合計	72	81	80	83	90	78	84	82	79	75	77	80	961

3. 給食

(1) 令和5年度 栄養給与基準量及び通常食提供量

	1日あたり	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC	食塩
単位	Kcal	g	g	mg	mg	μgRE	mg	mg	mg	g
目標値	1,600	55.0	40.5	550	9.0	520	0.8	0.8	85	8.0
4月	1,526	55.4	42.1	631	6.9	635	0.8	0.62	80	7.7
5月	1,521	55.6	42.2	622	6.3	613	0.76	0.64	82	7.7
6月	1,529	55.8	43.4	598	6.5	623	0.76	0.62	79	7.6
7月	1,505	56.3	42.4	615	6.5	624	0.8	0.65	81	7.2
8月	1,506	56.4	41.8	590	6.5	607	0.75	0.64	73	7.2
9月	1,509	56.2	42.2	635	6.8	605	0.74	0.64	72	7.3
10月	1,501	55.7	41.3	600	6.3	591	0.75	0.63	79	7.3
11月	1,506	56.6	42.3	601	6.6	589	0.78	0.63	77	7.2
12月	1,510	55.8	42.0	600	6.8	628	0.73	0.63	73	7.3

1月	1,522	56.7	42.7	605	6.8	623	0.81	0.64	80	7.2
2月	1,509	56.2	41.7	623	6.7	599	0.75	0.63	74	7.3
3月	1,510	56.0	41.5	620	6.4	600	0.72	0.64	75	7.3

(2)食事提供状況

①食数

	朝食	昼食	夕食	合計
特養	25,216	25,087	25,233	75,536
ショートステイ	2,298	2,771	2,306	7,375
デイサービス	0	5,828	0	5,828
職員	0	3,465	0	3,465
来客	0	0	0	0
実習生	0	0	0	0
延人数	27,514	37,151	27,539	92,204

②選択食

日時	A	B
6/29	鶏肉の竜田揚げ～おろしポン酢～	赤魚の竜田揚げ～おろしポン酢～

③行事食

1	日時	4/11～4/13	行事名	おやつバイキング
	トライフル、バナナケーキ、ナポリタンパン、ショーロンポー、メロンゼリー、桃ゼリー			
2	日時	4/25	行事名	お花見弁当
	そら豆ご飯、若竹汁、鯖の照り焼き、エビフライ、ホタテフライ、菜の花の白和え、春野菜の炊合せ、香物、フルーツ			
3	日時	4/28	行事名	春メニュー
	サーモンと釜揚げしらす丼、清汁、茄子の味噌炒め、黒ごまプリン			
4	日時	5/5	行事名	子どもの日
	鶏五目ちらし、清汁、天ぷら盛合せ、ヨーグルトババロア			
5	日時	5/23～5/25	行事名	新茶イベント
	新茶			
6	日時	5/29	行事名	韓国メニュー
	ビビンバ丼、わかめスープ、キャベツの梅ドレ和え、桃ムース			
7	日時	6/21	行事名	梅雨を乗り切るメニュー
	天丼(えび、かぼちゃ、茄子、ピーマン)、清汁、大根の酢の物、いちごムース おやつ:紫陽花ゼリー			
8	日時	7/7	行事名	七夕
	七夕そうめん、かき揚げ、夏野菜ソテー、オレンジ おやつ:七夕ゼリー			
9	日時	7/18	行事名	冷し麺
	冷やし中華、肉団子の甘辛煮、小松菜とえのきの和え物、いちごムース			
10	日時	7/20	行事名	土用の丑の日
	ひつまぶし、清汁、香味奴、抹茶ゼリー			
11	日時	7/26	行事名	夏のスタミナメニュー
	夏野菜のキーマカレー丼、コンソメスープ、スナックエンドウのサラダ、桃ムース			
12	日時	7/30	行事名	納涼祭
	焼きそば、唐揚げ、かき氷、チョコバナナ、わたあめ			
13	日時	8/7～8/9	行事名	アイスイベント
	チョコミックス、ストロベリーミックス			
14	日時	8/15	行事名	お盆
	赤飯、清汁、白身魚の磯辺焼き、きんぴらごぼう、いちごヨーグルト			
15	日時	9/9	行事名	重陽の節句
	栗ご飯、清汁、赤魚の粕漬焼き、菊花のお浸し、梨			
16	日時	9/10	行事名	敬老会
	赤飯、清汁、刺身(まぐろ、サーモン)、天ぷら盛合せ、鶏肉のゆず風味焼き、炊き合わせ、五色なます、かぼちゃプリン おやつ:紅白まんじゅう			
17	日時	9/18	行事名	敬老の日
	ちらし寿司、清汁、厚揚げの野菜あんかけ、桃ムース			
18	日時	9/29	行事名	十五夜
	月見そば、肉団子の甘辛煮、かぼちゃサラダ、いちごムース おやつ:月見プリン			
19	日時	10/10～10/12	行事名	おやつバイキング
	ミニパフェ、抹茶ケーキ、ブルーベリーゼリー、コーヒー牛乳プリン、ポテト餅、クロワッサンサンド			
20	日時	10/30	行事名	ハロウィン

	チキンピラフ、コンソメスープ、ミートボールシチュー、ミモザサラダ、チョコプリン			
21	日時	11/6~11/8	行事名	焼き芋
	焼き芋(紅はるか)			
22	日時	11/23	行事名	秋の行楽弁当
	きのこご飯、清汁、エビフライ、ホタテフライ、鮭の塩麹焼き、牛肉と根菜の甘辛炒め、厚焼卵、香物、柿			
23	日時	12/10	行事名	クリスマス会
	トマトチーズのリゾット、フライドチキン、エビとアボカドの彩サラダ、フルーツヨーグルト			
24	日時	12/23	行事名	クリスマス1
	チキンピラフ、コンソメスープ、エビフライ、ラタトゥイユ、いちごのレアチーズ風味			
25	日時	12/25	行事名	クリスマス2
	サフランライス、コンソメスープ、鶏肉のマスタードパン粉焼き、紫キャベツとエビのごまドレサラダ			
26	日時	12/31	行事名	年越しそば
	年越しそば、えび天、白菜のごまドレサラダ、フルーツ			
27	日時	1/1	行事名	おせち料理
	赤飯、清汁、ぶりの照り焼き、おせち盛合せ(黒豆、寿かまぼこ、伊達巻)、みかん おやつ:お汁粉			
28	日時	1/2	行事名	お正月メニュー
	海鮮親子ちらし、清汁、筑前煮、抹茶ゼリーの黒蜜きなこかけ おやつ:紅白ようかん			
29	日時	1/4	行事名	お正月メニュー
	稲荷寿司、清汁、天ぷら盛合せ、春菊と湯葉のポン酢ジュレ和え			
30	日時	1/7	行事名	七草粥
	七草粥、みそ汁、鰯の梅煮、うずら豆			
31	日時	2/3	行事名	節分
	五目ちらし、鬼除け汁、鰯のゆず味噌煮、寒天ゼリー			
32	日時	2/23	行事名	天皇誕生日
	握り寿司、清汁、天ぷら盛合せ、茶碗蒸し			
33	日時	2/27	行事名	井の日
	ロコモコ丼、コンソメスープ、いんげんのわさびマヨ和え、ピーチゼリー			
34	日時	3/3	行事名	ひなまつり
	鮭ちらし寿司、清汁、厚揚げの野菜あんかけ、オレンジ			
35	日時	3/20	行事名	大人のお子様ランチ
	オムライス、コンソメスープ、チキンナゲット、スパゲティサラダ、プリンアラモード			

(3) 栄養ケアマネジメント

① 栄養ケアカンファレンス

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	17	21	31	17	21	30	18	20	30	19	21	31	276

令和5年度は、入居者一人ひとりと向き合い、その人に合った栄養マネジメントを行うことができた。また、各種研修会に参加し、嚥下やポジショニングについて理解を深めることができた。研修会で学んだことを関連職種に共有し、入居者が食べる喜びを感じられるように支援していきたい。

4. 施設ケアマネジャー

(1) ケアカンファレンス・認定調査

① ケアカンファレンス実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入居(名)	2	15	8	4	6	10	9	15	9	9	10	7	104

② 認定調査の実施人数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	2	1	5	0	1	5	4	2	3	6	3	2	33

③ 区分変更申請

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数(名)	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	2	7

令和5年度は定期的なカンファレンス・ケアプランの見直し、委託業務である認定調査を行い、入居者一人々の状態の理解を深め、現在の介護状況を捉え、介護・看護職員と状況の検討をした上で、家族に状態を説明しご理解をいただいた後、介護度の見直し(区分変更)を行った。介護をする職員にとって適切な介護度の情報が提供でき、家族にも現在の様子をご理解いただく事が出来た。本人の想いを拾い、ケアプランの中だけではなく、生活の場の中で実現できるように援助して行きたい。

5. 委員会

(1) 委員会活動報告・反省

① 委員会

1	入所検討委員会	今年度は毎月開催することができた。必要となる情報・資料・聴き取りが不十分だったので、次年度は申込段階で聞き取りと資料の確認を行っていききたい。
2	防災対策委員会	今年度は毎月開催することができた。警察署立ち合いによる防犯訓練や消防署立会いの下、総合避難訓練も実施する事が出来た。今後は今年度の課題を生かして取り組んでいく。
3	権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	委員会を定期開催・臨時開催することで虐待防止、身体拘束適正化に努めている。勉強会を開催し虐待防止、身体拘束適正化に向けての知識を深めることができた。虐待と思われる事項についての報告もあり委員会を緊急開催し対応の検討と見直しを行うことができた。
4	安全管理委員会	委員会の定期的な開催、勉強会を行い事故の予防に努めてきた。来年度は事故報告書の書式の見直しを行い、より記入しやすくなりやすいものにしていけたらと考えている。
5	感染予防委員会 (安全衛生委員会)	感染対策をしつつも面会の受け入れ、行事への家族の参加などを行ってきた。感染対策と通常運営の両立がスムーズにできた1年となった。次年度更に一歩進めた運営に繋げたい。
6	職場定着委員会	職員交流のイベントの開催を目指していたが、開催までは至らなかった。職員定着に向けて職場内の環境整備や交流を深めるなどの企画を行っていけるようにしていきたい。
7	給食委員会	今年度も提供している食事について、委託業者も交えて意見交換することができた。来年度もより満足していただけるような食事を提供できるように努める。
8	褥瘡予防委員会	委員会を定期開催し、多職種で連携することで褥瘡の予防、対応を行っている。利用者状態の把握継続や違う箇所が発生する事があり治癒に時間を要した。今後も看護、栄養、介護で連携をして知識を共有し対応改善に努めたい。
9	物品購入委員会	委員の入れ替わりがあり、うまく申し送りできていない部分で発注過多になることがあった。年度後半になると業務の流れが落ち着いた。今後申し送り態勢を整えて、誰がやっても安定して行える業務となるようにマニュアル化が必要である。
10	入浴委員会	今年度も引き続き協力ユニットでの特浴を継続した。協力ユニットすべてでのリフト浴導入は叶わなかったが、一部新館のシャワーキャリー導入は大きな業務改善となった。入居者の安全は勿論、働く職員の安全安心に繋がる機器導入となり効率化にも役立った。引き続き入居者が落ち着いて入浴できる環境の整備を行っていききたい。
11	ノーリフティング委員会	スライディングボード4枚購入し、各フロア2枚ずつ配布した。11月にノーリフティングケアの必要性や腰痛について勉強会を行った。
12	記録委員会	前年度から引き続き記録の統一化を進めてきているが、まだユニット独自の記録物が残っている。今後も統一出来る物については統一を行い、ユニット間での移動やヘルプに入った際に迷う事のないようにしていきたい。

(2) 全体行事報告

月	日	内容	参加者			
			利用者	職員	家族	合計
7	30	納涼祭	79	40	24	143
9	10	敬老祝賀会	74	35	45	154
12	10	クリスマス会	77	34	67	178
1	3	正月式	78	29	0	107

(3) ユニット行事

① あじさい

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/16	苗植え(野菜、花)	4	1	0	5	8/30	八つ橋	8	3	0	11
5/20	ボウリング大会	7	2	0	9	9/19	プラムジャム作り	6	2	0	8
5/4	母の日	5	2	0	7	9/19	魚釣り大会	8	2	0	10
6/18	カラオケ大会	5	2	0	7	10/31	芋掘り	8	2	0	10
6/6	サツマイモ植え	6	1	0	7	11/6	スイートポテト	8	2	0	10
6/15	あじさい飾り作り	8	2	0	10	1/1	初詣	7	1	0	8
7/7	七夕	9	2	0	11	2/3	節分 豆まき	5	1	0	6
8/16	風鈴作り	4	2	0	6	3/2	園外散歩	3	2	0	5

② りんどう

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/3	焼きリンゴ	10	3	0	13	10/19	お好み焼き	10	3	0	13
5/20	誕生日会(海鮮丼)	10	3	0	13	10/22	小旅行(小貝川ふれあい公園)	5	2	0	7
6/18	カラオケ大会	10	4	0	14	10/31	さつまいも掘り	5	3	0	9
6/19	誕生会	10	2	0	12	11/19	おやつ作り(スイートポテト)	10	2	0	12
7/7	七夕	10	2	0	12	11/20	誕生会	10	2	0	12

7/20	お取り寄せスイーツ	10	2	0	12	12/20	誕生日会	10	2	0	12
8/27	誕生日会	10	2	0	12	1/1	初詣	10	2	0	12
8/30	流しそうめん	10	3	0	13	2/3	豆まき	10	4	0	14
9/16	おやつ作り(ゼリー)	10	2	0	12	2/28	バスケットボール	10	3	0	13
9/30	誕生日会	10	2	0	12	3/30	花の苗植え	10	3	0	13

③つつじ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/24	誕生日会 ワッフル作り	9	2	0	11	10/31	牛久大仏ドライブ	2	2	0	4
5/23	誕生日会	10	3	0	13	11/15	手打ちうどん	10	3	0	13
6/20	誕生日会 たい焼き作り	10	2	0	2	1/25	新年会・誕生日会	10	3	0	13
7/21	スイカ割り	10	2	0	12	2/5	節分	10	1	0	11
8/20	出前食	10	2	0	12	2/26	誕生日会	10	2	0	12
9/8	誕生日会	10	2	0	12	3/12	誕生日会	10	2	0	12
10/26	誕生日会	10	3	0	13						

④カンナ

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/26	誕生日会	10	2	0	12	11/30	誕生日会	10	2	0	12
5/31	外食	2	4	0	6	12/10	かな忘年会	10	2	0	12
6/26	ヨモギ団子作り	10	2	0	12	1/25	おでん作り	10	2	0	12
7/22	おやつ作り	10	2	0	12	2/5	節分	10	1	0	11
8/31	誕生日会	10	1	0	11	2/26	バレンタインデー	10	2	0	12
9/10	おやつ作り	10	2	0	12	3/23	誕生日会	10	2	0	12
10/31	牛久大仏ドライブ	4	5	0	9						

⑤ひまわり

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/30	出前食	8	2	0	10	10/18	スイートポテト作り	9	3	0	12
5/82	誕生日会	10	2	0	12	11/13	誕生日会とおやつ会	9	2	0	11
6/18	誕生日会と父の日	10	4	0	14	12/30	年末くじ引き大会	9	2	0	11
7/20	あんころ餅作り	10	6	0	16	3/13	出前食	9	3	0	12
8/24	おやつ作り	10	2	0	12						

⑥ばら

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/24	誕生日会	9	3	0	12	10/27	もみじ羊羹作り	10	3	0	13
5/11	誕生日会	10	3	0	13	11/14	おやつ作り	10	3	0	13
6/20	お茶会	10	2	0	12	12/19	釣り堀でサンドウィッチを釣り上げよう	10	3	0	13
7/21	誕生日会	10	2	0	12	1/11	手打ちラーメン作り	9	5	0	14
8/18	スイカ割り	10	4	0	14	2/25	鬼除け汁	10	3	0	13
9/19	ババ抜き大会	10	3	0	13	3/17	ひまわり・ばら交流ピクニック	10	3	0	13

⑦すいせん

日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計	日付	行事名(場所)	入居者	職員	家族	計
4/9	ご自宅ツアー	1	2	0	3	11/29	水郷公園&志乃乃ドライブ	10	2	0	12
4/16	亀城公園・水郷公園へドライブ	7	4	0	9	12/30	誕生日会・クレープ作り	10	2	0	12
5/11	誕生日会・出前食	10	3	0	13	1/20	誕生日会・お寿司	10	4	10	14
6/7	フラワーパーク	2	2	0	4	1/24	八坂神社へ初詣	2	2		4
7/29	アイスカステラ作り	10	2	0	12	2/14	チョコレートフォンデュ	10	3	0	13
8/5	スイカ割り	10	3	0	13	3/6	誕生日会・どら焼き作り	10	2	0	12
10/14	誕生日会・焼き芋	10	3	0	13						

⑧コスモス

日付	行事名	入居者	職員	家族	計	日付	行事名	入居者	職員	家族	計
4/15	桜餅作り	10	2	0	12	10/17	かぼちゃのスープ作り	10	3	0	13
5/21	居酒屋レク	10	2	0	12	11/11	季節のケーキ&お茶会	10	2	0	12
6/7	フラワーパーク	3	3	0	6	12/22	冬至・ゆず湯	10	2	0	12
6/22	ぼんどう太郎・市内ドライブ	2	2	0	4	1/10	豆腐餅のおしるこ作り	10	2	0	12
7/16	フルーツポンチ作り	10	2	0	12	1/24	八坂神社へ初詣	2	2	0	4
8/29	室内果物狩り	10	2	0	12	2/28	桜紅茶と桜バウムクーヘン	10	2	0	12
9/28	誕生日会・パフェ作り	10	3	0	13	3/23	今川焼デコレーション	9	2	0	11

(4)ユニット費

ユニット名	月平均額	年間累計	ユニット名	月平均額	年間累計
あじさい	7,480 円	89,768 円	ひまわり	8,074 円	96,891 円
りんどう	9,583 円	115,000 円	ばら	8,094 円	97,139 円
つつじ	8,796 円	105,554 円	すいせん	8,128 円	97,539 円
カンナ	9,754 円	103,238 円	コスモス	8,782 円	105,384 円

① あじさいユニット

利用者の希望をお聞きしながら、野菜や花の苗植えを行う事で、『利用者を知る』という目標にも成果が見られた。個々の能力把握をする事で、過度な関わりや介護がなくなり、危ないと思い止めてしまうスピーチロックが減少した。利用者の ADL の把握をする際に本人がしたい事や興味を示し行う身体機能には「できる」力に大きな差が生まれていた。今後リハビリや普段の生活の中にもユニット費などをうまく活用し企画運営していきたい。

② りんどうユニット

消耗品は最小限にして、雑誌やレク用品に多く支出することを心掛け生活に潤いを与えることができた。

③ つつじユニット

日々の楽しみが増えるよう飲み物の種類を増やしたり、季節の飾りなど入居者と一緒に作成出来る事を考え工作物の購入や入浴剤の種類を増やす事で入浴を楽しんで頂けた。又、前年度同様、目で季節を感じて頂けるよう園芸品の購入や芳香剤や掃除用洗剤など購入し環境整備を行った。

④ カンナユニット

前年度に引き続き、排泄などの臭いを軽減するためトイレに消臭剤を設置した。季節の飾りでは職員の手作り工作のほかに季節感の壁シール購入し、工作では表現できないインパクトのある飾りを行った。また前年度同様様々な香りの入浴剤などで入浴を楽しんで頂く取組みを行った。また園芸にも力をいれ、トマトやキュウリなどさまざまな野菜を育て成長する様子や食する楽しみを身近に感じてもらう活動を行った。

⑤ ひまわりユニット

季節を感じられるように飾りの購入や、手作りの飾りを目で楽しんでもらうようにした。入浴時に、温泉に入った気分を味わえるように温泉の入浴剤や好みの香りを購入しリラックス出来るように努めた。トイレを使用する時に気持ちよく入れるように消臭剤を購入し、清潔な環境保持に努めた。

⑥ ばらユニット

余暇活動で利用者と職員で季節を感じられる飾り物を作成し、ユニット内の壁を利用して飾りつけをし、気分転換を兼ねて楽しんで頂けるよう努めた。

⑦ すいせんユニット

入居者が集まるおやつの時間に好みの飲み物を選択出来るように、入浴時にも希望の入浴剤を選択していただき、楽しい入浴時間を提供出来るように務めた。余暇時間に雑誌や本、編み物やホログラムシートなどを購入し、生活に彩りをもたらすきっかけ作りに力を入れた。また、入居者が快適に過ごせるよう、清掃用品や消臭剤など購入し、環境を整える活動を行った。

⑧ コスモスユニット

入居者の嗜好を伺い飲み物を購入し、ユニットレクリエーションでのお茶会などでは季節を感じられるような食器を用意し、目でも楽しめるように力を入れた。入居者と一緒に楽しめる季節の飾りを購入し、楽しんでいただけた。また、共同生活室の清掃用品や消臭剤など購入し、環境整備に努めた。

6. 研修

(1) 内部研修報告(施設内勉強会)

実施日	内容	参加人数(名)
4月3日	R5 事業計画について	39名
5月1日	高齢者権利擁護及び虐待防止について	41名
6月1日	とろみ剤について	42名
7月3日	BCPについて	45名
7~8月にかけて	感染対策 スタндартプリコーション、防護服の着脱	54名
9月1日	介護現場でのプライバシー保護について	35名
10月1日	高齢者権利擁護及び虐待防止・身体拘束について	36名
11月1日	ノーリフティングケアについて	28名
12月1日	介護現場でのリスクマネジメントについて	37名
10~2月にかけて	高齢者権利擁護・身体拘束・虐待防止について	55名
2月13日	組織におけるアンガーマネジメントについて	40名
3月11日	身体拘束について	37名
合計		489名

(2)外部機関研修

研修名	開催時期	職種	研修内容	人数	オンライン
令和5年度看護実務者研修	R5/6/10・7/7	看護師	高齢者権利擁護	1	
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 A	R5/6/29.30	副主任介護士	キャリアパスについて	1	
相談援助業務担当研修	R5/7/4	生活相談員	「相談スキル」を身に着ける	1	
認知症介護実践者研修	R5/7/25～9/27	副主任介護士	認知症介護の専門職員の養成	1	○
公認心理師研修	R5.4/15～5/15.6/11	施設長	心理師 専門課程	1	
ユニットリーダー実地研修	R5.6/20～6/23	副主任介護士	ユニットリーダー実地研修	1	
精神・発達障害者仕事サポーター養成講座	R5.7/14	生活相談員 副主任介護士	精神・発達障害者仕事サポーター養成	2	
アンガーマネジメント研修	R5.8/8	介護職員	アンガーマネジメントを学ぶ	1	
「伝わる」でつながる広報紙講座	R5.7/18	介護職員	広報誌の作成について	1	
ユニットリーダー実地研修	R5.7/31～8/4	副主任介護士	ユニットリーダー実地研修	1	
経営協セミナー	R5.8/29	施設長	社会保障・社会福祉をめぐる動向	1	
ユニットリーダー実地研修	R5.9/19～9/22	副主任介護士	ユニットリーダー実地研修	1	
看取りケア研修	R5.11/15	看護師 介護職員	高齢社会に求められる医療と介護	3	
民間社会福祉協議会 職員研修	R5.12/4	副主任介護士 介護職員	腰痛予防ストレッチ	2	
給食研究会	R5.11/22	管理栄養士	給食研究会ブロック合同研修に参加	1	
講演会	R5.11/29	施設長 生活相談員 副主任介護士	オープンダイアログとは	3	
福祉サービス苦情解決研修	R6.2/29	生活相談員	苦情解決について	1	
安全・衛生管理研修	R6.1/24	副主任介護士	労働災害について	2	○
がん医療・緩和ケアカンファレンス	R6.2/1	看護主任 副主任介護士	地域医療従事者のためのがん医療 緩和ケアカンファレンス	2	○
施設長・管理者研修	R6.2/27	施設長 生活相談員	R6 年度介護報酬改定について	3	○
R5 年度茨城県医療提供施設 グループ化推薦事業会議	R6.1/25	施設長 生活相談員 看護主任	グループ化について	4	
マインドマップ研修	R6.3/4	生活相談員	マインドマップについて	1	○
認知症支援のための神経心理 アセスメント研修	R6.2.23	施設長	認知症支援のための神経心理アセス メントについて	1	○
合 計				36	

集合研修に多く参加することができた。来年度から必要な研修も多くなっていることから、様々な職員に外部研修に行ってもらい、学んだことを施設内でアウトプットできるようにしていきたいと考えている。

7. 実習生受入れ

(1)学校別集計(デイサービスを含む):アール医療福祉専門学校 看護学科

令和5年 10月17日～10月19日 受け入れ人数 5名

茨城県立水戸聾学校 高等部

令和6年 1月29日～2月2日 受け入れ人数 1名

(2)実習種類別集計(デイサービス含まず):受入れ実績なし

8. ボランティアの受け入れ

受入れ実績なし

コロナ対策として外部の施設内立ち入りを制限したため、受入れ実績なしとなった。来年度は受け入れ再開に向けて話をすすめていきたいと考えている。

デイサービス憩いの里
指定通所介護・介護予防通所介護事業
土浦市介護予防・日常生活支援総合事業
(通常規模型・利用定員 30 名)

1. 運営

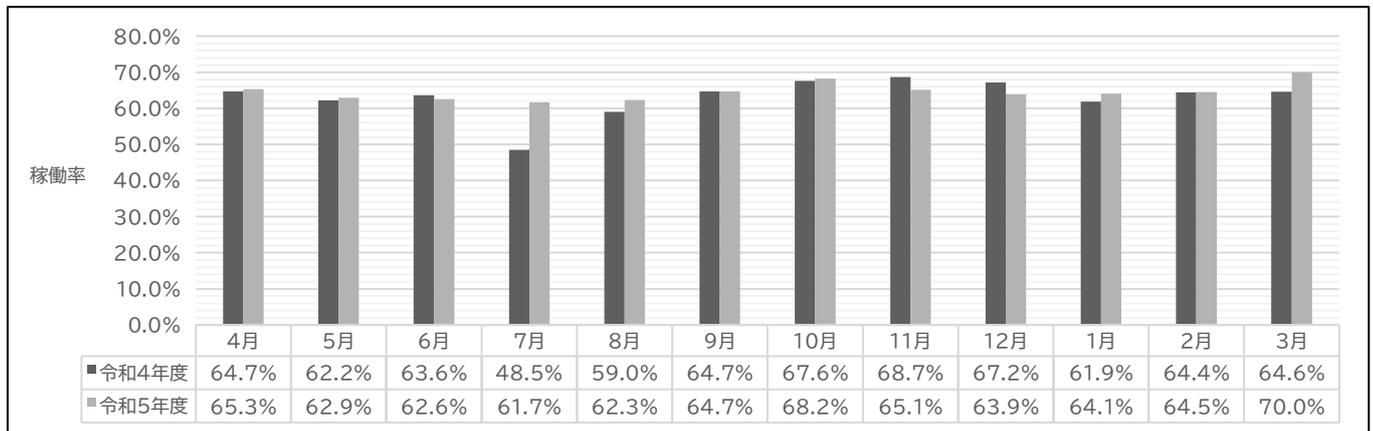
今年度は、4 月～9 月までの上半期平均利用者数 19.0 名と前年比 0.9 名増となった。下半期は、平均利用者数 19.8 名、前年比 0.1 名増となった。一年を振り返り、利用者、家族の希望に沿った利用時間での受け入れの継続の他、デイサービス内の環境整備・配置も職員間にて検討し、大きな模様替えを行い、その上でソーシャルディスタンスを保ちつつ多くの利用者様が過ごしやすい様スペースの確保に努めた。大きな実績の上昇は見られていないが、一年を通して少しずつ稼働率を上げることが出来た。又、継続して利用者・家族とのコミュニケーションを大切にする事で、個々の思いや生活課題を抽出する事ができ、年度の事業目標をかたちにできた一年となった。

その他、地域交流、地域福祉の貢献活動を目的とし、感染症対策の元、多職種連携を行ない、地域交流スペースにて介護予防教室の開催を行う他、音楽ボランティアや実習生の受け入れを行なうなど外部からの受け入れを再開する事が出来た。

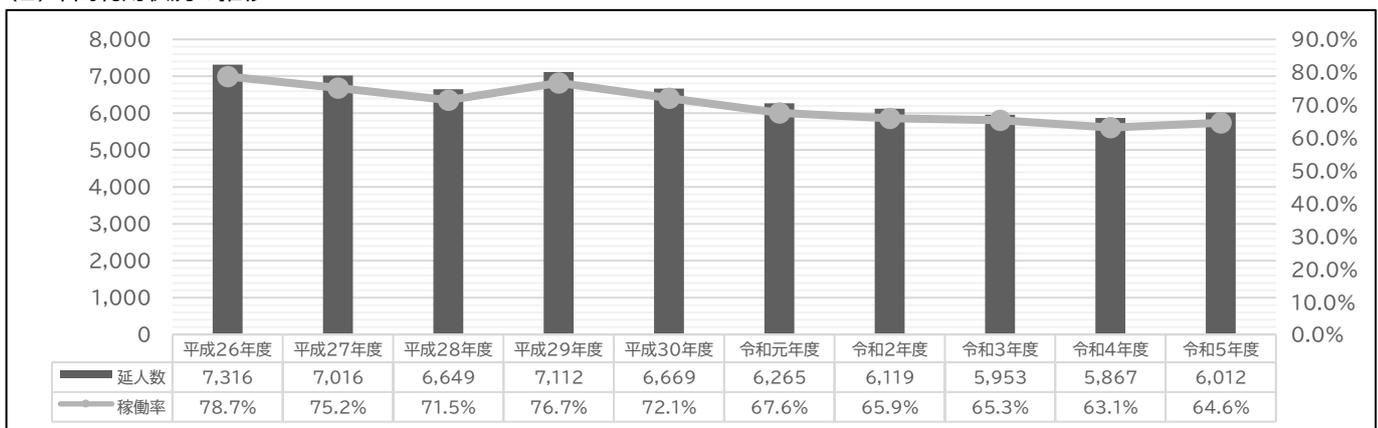
2. 実績報告

(1) 月別利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
運営日数(日)	25	27	26	26	27	26	26	26	26	24	25	26	310
実人数(名)	58	53	55	59	60	63	64	62	61	58	58	58	645
延人数(名)	490	510	489	482	505	505	532	508	499	462	484	546	6,012

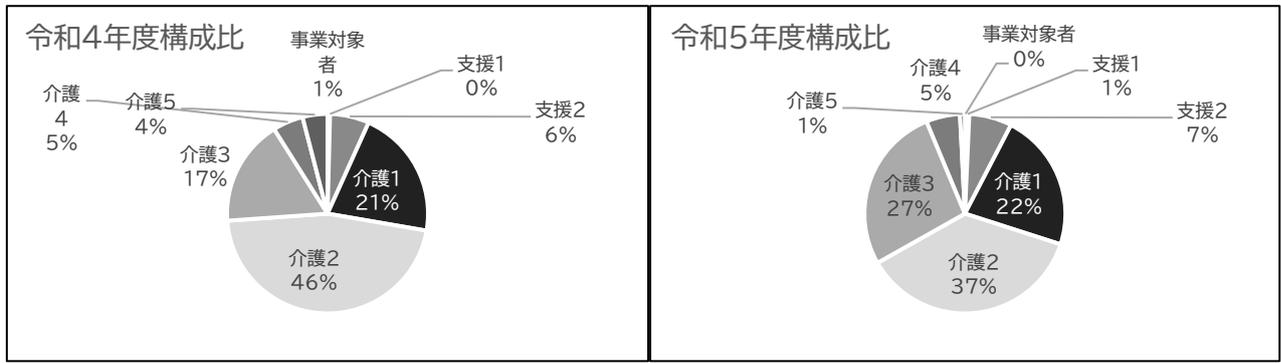


(2) 年間利用状況の推移



(3) 介護度別利用状況

延人数	事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
令和4年度	24	0	371	1,232	2,706	1,010	289	235	5,867
令和5年度	12	30	414	1,346	2,213	1,622	328	47	6,012



3. 事業報告

(1) サービスの質の向上への取組

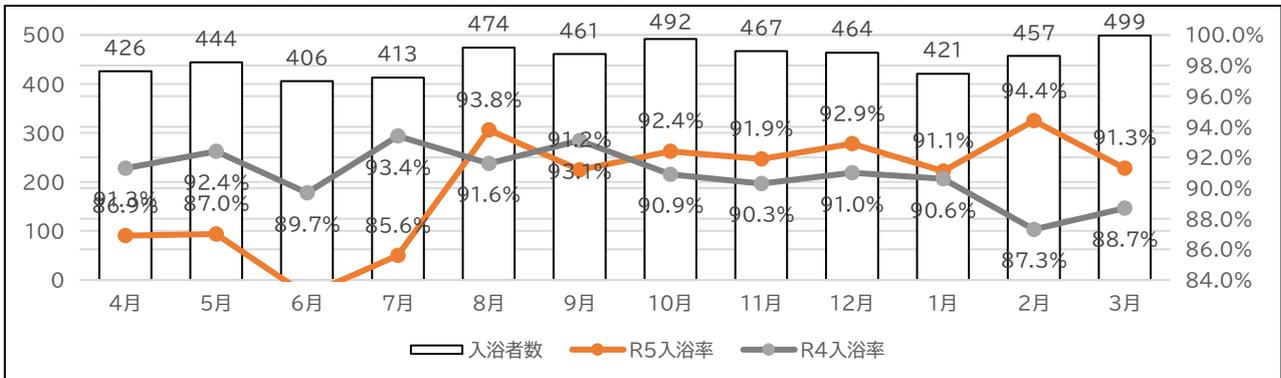
利用者や家族、ケアマネジャー、多職種とサービス担当者会議にて居宅サービスに沿って検討し、利用者様のニーズを明確にした上でサービス提供を行なう事が出来た。

(2) 通所介護・介護予防通所介護計画書作成

利用者が在宅で生活を行っていく為に必要な支援内容を記載し、定期的な見直しを行った。また、利用者の状態変化があった際にはケアマネジャーや家族に随時連絡しつつ見直しを行った。

(3) 入浴サービス(入浴者数・入浴率報告)

利用者1人1人の身体状況を把握し、安心安全を心掛けながら、その方にあった入浴サービスを提供することが出来た。また体調の変化や皮膚トラブルなど、看護職員と情報共有を図ることで早期発見に繋げることが出来た。



(4) 食事サービス

管理栄養士と連携を図り、おやつバイキングや、季節に合わせたイベント食等バラエティーに富んだ食事を提供する事ができ、利用者からも喜びの声が聞かれた。また、嚥下機能が低下した方への対応を関連職種で連携し、一人一人に合わせた食事形態で対応する事も出来た。来年度も喫食率の増加を目指し、食事の質の向上に努める。また、嚥下機能を維持できるような取り組みを検討していきたい。

(5) 排泄介助サービス(定時・随時)

作業療法士・看護職員と共に協力し合いながら、利用者のプライバシーを守り、一人ひとりのADLを把握・確認を徹底し、その人に合った介助サービスに努める事が出来た。利用者の体調や皮膚状態の確認を徹底し、家族・ケアマネジャーへの報告・連携に努めた。

(6) レクリエーション・行事

今年度は感染症対策を施設内で共有を図り、感染のリスク因子を排除しながら、外出・外食行事を行なう事が出来た。希望を募る際には事前に外出先や感染対策の内容をお知らせし、希望に併せて参加・不参加を募った。外出行事を通して「デイサービスに来れば色々な場所に行ける」「憩いの里に来てよかった」との声も聞かれ、利用者様の生活意欲の促進に繋がる成果が見られた。

【レクリエーション実施状況(回数)】

輪投げ	21	都道府県クイズ	14	風船バレー	7	物干しゲーム	16
マキマキ	16	射的	7	ボール送りゲーム	3	クロスワード	2
買い物ゲーム	17	新聞ちぎり	20	レングリレー	3	漢字	7
吸い取るピンポン	8	ビー玉ストロー	16	箱の中は何だろう	3	魚釣り	20
絵合わせカルタ	13	ボーリング	8	しりとり	17	音楽ボランティア	3
連想ゲーム	15	傘で玉入れ	6	脳トレ	3	計算	10
ビンゴ	11	詰め放題	16	計 26 種類		282	

【行事実施状況(回数)】

桜お花見ドライブ	3	スイカ割り	2	夏祭り	3	紅葉ドライブ	6
オンラインコンサート	1	敬老週間	3	クリスマス会	2	豆まき	1
七夕イベント	1	運動会週間	6	餅つき	1	節分イベント(玉入れ)	5
甘味ドライブ	6	年末お楽しみ会	4	計 14 種類		44	

(7)個別機能訓練(介護)・運動機能向上(予防事業)サービス

作業療法士、及び機能訓練指導員と連携し、利用者の希望や目標に合わせて心身機能の評価を3ヶ月毎に実施した。利用者の機能維持、向上に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
機能訓練(名)	51	48	49	53	53	55	57	55	54	53	51	51	630
運動器機能(名)	4	5	6	6	7	8	7	6	6	6	5	6	72
合計	55	53	55	59	60	63	64	61	60	59	56	57	702

(8)送迎サービス

利用者を安全に送迎できるよう、デイサービス送迎時に把握できた危険箇所を中心に独自マップや、市のハザードマップの活用で情報共有に努め安心・安全の送迎を実施できた。大きな事故等なく一年間安全な送迎を提供できた。

【送迎状況(回数)】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
迎え (減算)	490 (1)	509 (1)	484 (4)	481 (1)	504 (1)	504 (1)	530 (2)	504 (5)	497 (2)	460 (2)	484 (0)	537 (9)	5,984 (29)
送り (減算)	480 (9)	500 (9)	477 (12)	470 (12)	500 (4)	495 (10)	523 (9)	491 (17)	487 (12)	454 (8)	473 (11)	528 (18)	5,878 (131)
延回数 (減算)	970 (10)	1,009 (10)	961 (16)	743 (13)	1,004 (5)	999 (11)	1,053 (11)	995 (18)	984 (12)	914 (10)	957 (11)	1,065 (27)	11,862 (160)

【送迎車両走行距離(km)】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
キャラバン	893	889	823	871	788	784	908	946	864	764	790	811	10,131
ヴォクシー①	747	864	639	821	754	828	855	864	836	835	773	863	9,679
ヴォクシー②	749	936	774	724	842	786	900	841	842	768	802	802	9,766
シエンタ	707	841	729	760	682	759	761	784	706	666	652	650	8,697
タント	1,131	1,103	967	1,007	1,114	1,106	1,111	1,076	1,123	1,099	1,069	1,253	13,159
合計	4,227	4,633	3,932	4,183	4,180	4,263	4,535	4,511	4,371	4,132	4,086	4,379	51,432

(9)看護報告(処置集計報告)

利用者の体調確認、早期以上の発見の為、朝の送迎時体温測定をし、来園後のバイタル測定を介護職員と連携して行った。入浴時、全身の皮膚状況確認、必要に応じ軟膏処置、湿布貼付等施行。こまめな手洗い、消毒、うがい、マスク着用を行なう。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
内服薬	214	270	201	131	185	188	206	213	234	215	241	258	2,556
軟膏塗布	349	144	317	237	299	301	291	213	338	324	244	377	3,434
湿布	32	64	33	20	28	27	45	34	30	27	42	43	425
点眼	90	86	85	66	78	82	81	80	77	53	56	71	905
爪切り	37	38	32	31	38	24	21	29	36	34	35	41	396
体重測定	48	20	51	50	49	54	58	55	57	54	55	55	636
合計	776	652	719	535	677	676	702	624	772	707	673	845	8,322

(10)ヒヤリハット報告

今年度は転倒や車椅子やソファー上からのずり落ちが多く見受けられた。転倒やずり落ちのリスクが高い利用者様をリストアップし、対応方法を職員間で共有しながら対応出来るように努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
転倒・ずり落ち	1	0	0	0	1	1	1	1	3	4	0	1	12
トラブル	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
体調不良	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
徘徊	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
車の物損	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
内服薬	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
備品・物損	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	3
職員確認ミス	0	1	0	1	0	0	2	0	1	0	1	0	6
苦情	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
入浴時	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
救急車対応	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	2	4	2	2	2	5	1	5	4	1	1	33

(11)地域連携・貢献活動(介護予防教室等)

他部署相談員とも協力し、地域交流、地域福祉貢献を目的とし、地域交流スペースにて介護予防教室(いこっ茶)を開催する事が出来た。地域・民生委員にも呼びかけ、10名の参加があった。スクエアステップを行ない転倒予防、生活習慣病予防に効果があると説明しつつ行なう事が出来た。

(12)実習生・ボランティア受入

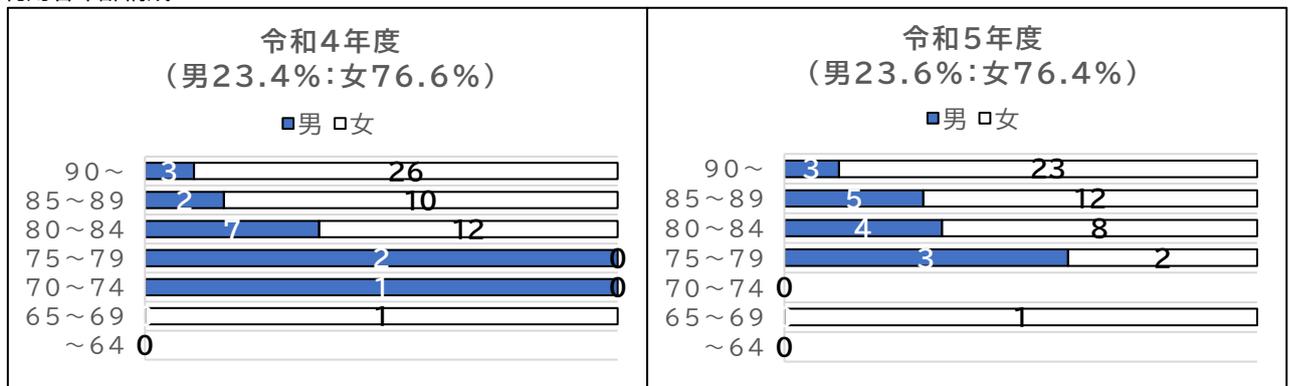
コロナ対策として、実習生等の受け入れは行なわれていなかったが、今年度は感染症対策を施設内で共有した上で、実習生の受け入れを1名受け入れることが出来た。今後も感染症対策を検討しつつ実習生・ボランティア受入を行なっていきたい。

4. 利用者状況

(1)登録利用者

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
R5	登録者数	65	63	63	64	66	69	71	65	65	63	61	61	776
	新規利用者	3	4	5	4	6	4	5	2	1	2	3	0	39
	利用終了者	3	8	0	4	2	2	10	1	5	5	0	1	41
R4	登録者数	54	55	58	59	56	58	57	59	64	63	62	64	710
	新規利用者	2	2	4	1	1	2	2	4	5	2	1	4	30
	利用終了者	4	1	0	4	0	1	2	2	0	5	1	3	23

(2)利用者年齢構成



(3)町内別(市外含む)・中学校区別登録利用者(令和6年3月31日現在)

○町内別(市外含む)

地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数	地区	登録者数
藤沢	11	本郷	2	小高	1	高岡	3
田土部	1	下坂田	3	上坂田	1	大志戸	2
大畑	5	東城寺	1	並木	9	常名	1
神立東	1	永井	3	真鍋	2	沢辺	3
中貫	4	板谷	1	殿里	1	市外	1
小山崎	1	都和	2	西真鍋	2	合計	61

○中学校区別

地区	一中	二中	三中	四中	五中	六中	都和	新治	市外	合計
登録者数	0	5	0	0	1	0	21	33	1	61

支援センター憩いの里

1. 居宅介護支援事業所勤務体制

8月に1名退職したが2月に新任ケアマネジャーが1名入職し、3名体制となった。人材育成とチームとして働く環境作りを心掛け、問題に対して一人で抱え込まず事業所内で検討して取り組み、必要に応じて同行訪問を行うなどのサポート強化を図った。また同法人居宅介護支援事業所との連携を図り、BCPの作成・提出を行った。近隣の他居宅介護支援事業所との研修会等への参加を通じてスキルアップや人脈作り、ケアマネジメント能力向上に努めた。

2. 居宅介護サービス計画実施状況

<介護プラン>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	53	55	58	114	63	54	62	57	62	61	63	61	763
市外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	53	55	58	114	63	54	62	57	62	61	63	61	763

月平均63.4件。人員増加に伴い件数の拡大を図ることができた。新規相談については、事業所近隣からだけではなく市内全域から広く受け入れ、月に複数件の相談に対応することもあった。7月の件数は特定事業所加算が外れた事による6月分再請求事務が発生したため、約二倍に計上された数値となった。

<介護予防プラン(地域包括支援センター委託)>

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
土浦市	12	15	16	16	15	17	17	17	17	16	15	15	188

月平均15.6件。本人や家族からの直接依頼や地域包括支援センターからの新規相談に積極的に対応することで相談依頼の増加を図ることができた。

<居宅サービス契約者介護度別件数>

介護度 年度	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
令和4年度	8	35	69	236	109	79	44	35	615
令和5年度	3	67	118	316	260	122	38	27	951

ケアマネジャー1名が8月付けで退職となったが、前年に比べ336名増加した。最も多いのが要介護1の利用者となっていることは昨年と変わらないが、地域包括支援センターからの相談も積極的に受け入れたことから要支援1、2の件数増加がみられた。

3. 認定調査

認定調査の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
土浦市	5	1	4	4	2	2	3	2	5	4	5	1	38

認定調査は、38件実施した。

4. 研修

月	内容	参加人数
5月	他居宅介護支援事業所主催研修『国民年金について』(ケアプランセンター華林)	3名
	ケアマネ研究会総会	1名
6月	法人内ケアマネ研修『BCP、虐待、感染症』(サポートセンター)	2名
	事業所内『クレーム対応』	3名
7月	事業所内『BCPの実践方法について』	2名
	事業所内『境界層措置制度について』	2名
	土浦かすみがうら地区総会・研修会『人生100年時代、フレイル予防の為の運動とこころの健康』(新治地区公民館)	1名
8月	事業所内『介護支援専門員に課せられているマネジメントプロセスの基本を振り返る』	2名
	つちうlabo『退院時の在宅移行支援』(土浦市役所二階)	2名
	事業所内『高齢者虐待防止の推進について』	2名
9月	霞ヶ浦南岸地区会『これで安心、災害時BCP 現実版パワーハラスメント予防と対応支援の地域づくり』(Zoom)	1名
	『サービス担当者会議のとりせつ①』(ウェビナー)	2名
10月	つちうlabo『在宅療養・看取りの支援』(土浦市消防署)	1名
	令和5年度認定調査員現任研修(Zoom)	2名

	『サービス担当者会議のとりせつ②』(ウェビナー)	2名
	地域包括支援センターうらら『お一人様の終活 前』(二中公民館)	1名
11月	土浦ケアマネジャー研究会『適切なケアマネジメント ACP,BCP,権利擁護について』(Zoom)	2名
	土浦市『ケアプラン点検』(Zoom)	2名
	自事業所主催研修『仕事と介護の両立支援』(サポートセンター)	2名 外部 15名
	地域包括支援センターかんだつ『お一人様の終活 後』(二中公民館)	1名
	12月	279 オープンセミナー『標準アセスメント 23 項目の完全解説』(Zoom)
	法人内ケアマネ研修『BCP、虐待、感染症』(サポートセンター)	2名
1月	『BCP 机上訓練』(Zoom)	1名
	279 オープンセミナー『ケアマネがカフェを作った～地域コミュニティの仕組みを作る～』	2名
2月	279 オープンセミナー 『令和 6 年度介護報酬改定』(Zoom)	3名
	『福祉サービス苦情解決研修会』(ザ・ヒロサワ・シティ会館)	1名
3月	土浦市地域包括主催『介護予防支援ケアマネジメント委託業務事業所説明会』(四中公民館)	2名
	『適切なケアマネジメント手法その 2 解説セミナー』(ウェビナー)	2名
	279 オープンセミナー『対話の必要性その理由と具体的な方法』(zoom)	3名

土浦市在宅介護支援センター憩いの里
土浦市在宅介護支援センター運営委託事業(新治地区担当)

1. 特別業務

状況	件数	状況	件数	状況	件数
(1)台帳作成	17	(2)緊急通報	6	(3)配食サービス	3

今年度、特別業務合計は 26 件となった。そのうち(1)台帳作成件数については前年比 18 件減少した。理由として昨年度に比べ、訪問の電話を入れた際に訪問拒否があった事で新規台帳の作成が減少したことや、1件の困難ケースに地域包括や民生委員とチームとなりアウトリーチ活動で時間を割いた事が理由と考えられる。緊急通報システム、配食サービスに大きな変化は無かった。

2. 相談

(方法×続柄集計)

方法	続柄	本人	家族	民生委員 近隣	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
		業務時間	電話	16	6	13	9	22	2	6
	来所	3	0	4	0	6	0	0	0	13
	訪問	89	28	16	5	16	18	7	0	179
時間外	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	来所	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	訪問	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		108	34	33	14	44	20	13	0	266

今年度の相談数合計は 266 件と前年比 79 件減少となった。昨年度より訪問の件数は減少したが、民生委員からの情報提供や同行訪問の依頼が多かった。地域包括支援センターからの依頼もあり、介護保険制度に繋がるケースもあった。

(相談区分×続柄集計)

方法	続柄	本人	家族	民生委員 近隣の方	市役所	包括	社協	事業所 病院等	その他	合計
(1)家族の支援		138	41	36	14	52	33	12	2	328
(2)介護保険制度		65	26	15	6	47	22	8	0	189
(3)福祉サービス		60	18	9	26	21	16	6	2	158
(4)保健・医療		17	4	4	0	12	9	6	0	52
(5)経済・住まい		16	6	3	0	13	4	1	0	43
(6)地域の困りごと		6	0	2	1	6	4	0	1	20
(7)その他		96	15	17	6	27	19	7	1	188
(8)二次予防事業		0	0	0	0	0	0	0	0	0
(9)虐待・権利擁護		0	1	0	1	1	0	0	0	3
(10)ケアマネ支援		0	0	0	0	0	0	0	0	0
(11)認知症関係		6	6	6	5	1	1	1	0	26
合計		404	117	92	59	180	108	41	6	1,007

前年度と比べ相談件数が減少傾向にあるが主に、(1)家族の支援、(7)その他の項目で減少が目立った。(1)、(7)については、介護保険制度外のフォーマル、インフォーマルの相談・支援を組み合わせ継続した関わりを持つ必要があると考える。また、民生委員・近隣の方、包括、社協の相談件数が横ばいとなった。多様な地域課題がある為、行政・地域包括・社協等との連携を図り、迅速かつ適切な支援に繋がれるよう意識したい。

3. 会議出席回数等

件名	件数(回)
(1)ふれあい調整会議	6
(2)スクラムネット	12
(3)その他	23
合計	41

今年度は、各定例会は通常通りの開催となった。会議に出席し顔を合わせる事で、多職種間の連携強化、より多くの情報共有、意見交換ができた。特に、民生委員児童委員定例会の開催があった事で、地域の顔つなぎの場を持つことができ、情報提供もスムーズにいただき訪問活動へ繋げることができた。

4. 動向と考察

コロナウイルス感染症 5 類に移行後は、潜在的な地域課題に対して積極的なアウトリーチが行えるようになった。民生委員や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターとの、同行訪問及び困難事例への介入で解決に向けた関わりが出来たと考える。

次年度も引き続き感染対策を徹底したうえで、民生委員や社協、地域包括支援センター等との連携を強化して訪問回数を増やし、地域の高齢者の実態把握に努めるとともに、「在宅介護支援センター憩いの里」が地域の身近な相談窓口として機能出来るよう、関連機関とともに多職種連携を意識し行動していきたい。

令和 5 年度

事業報告(案)

社会福祉法人 祥風会

桜川保育園

理事長 羽鳥 圭一

施設長 宇都野 和司

〒300-0048 土浦市田中三丁目4番5号

T E L 029-821-8341

F A X 029-823-0390

U R L <https://showfukai.com>

E-Mail sakuragawa@showfukai.com

桜川保育園

【1】運営（運営方針に対する報告）

令和5年度も、事業計画の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」に沿って、試行錯誤を繰り返しながら保育園運営に努め、概ねそれぞれの方針、理念、目標どおりに推進することができた。

クラス編成では、行動範囲が広がり、好奇心が旺盛になる1歳児を2クラスに分けたことで、1人の保育士が担当する園児数が6人から4.5人に軽減され、安全で健全な子どもの発育、発達を促しやすくなった。また、子ども1人当たりの活動スペースを広く確保することができたため、さらに安心できる環境を整備することができた。

「桜川保育園らしさ」の特徴である日本の伝統や風習などを伝えることでは、昨年度に引き続き、季節に沿った「七夕」「正月あそび」「獅子舞」「ならせ餅」など、創意工夫をしながら年中行事を実施し、日本の伝統文化や風習を伝えることができた。

また、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことで、令和2年度の開園以降昨年度まで、制限または規模を縮小して実施してきた行事等も、保護者参加の下で盛大に開催することが可能となり、親子の触れ合いを大切にしながら、安心、安全を第一に考えた保育園運営をすることができ、保護者との信頼関係もより向上した。

昨年度から新規事業として開始した体調不良児対応型の「病児保育事業」についても、年末年始に流行した、「インフルエンザ」「溶連菌感染症」「急性胃腸炎」等で登園後に体調不良になった園児を別室にて看することで、園内における感染拡大の抑止と保護者の子育て及び就労の両立の支援に繋がり、児童の福祉の向上を図ることができた。

さらに、グローバルな視点から、2030年までに達成しなければならない持続可能な開発目標を掲げている「SDGs」について、『保育園でできるSDGs』を職員一人ひとりが強く意識し、子どもたちと一緒に考えながら、食品ロスをなくすことや、節電、廃材利用、ペーパーレス化などの環境を守るための取り組みのほか、野菜の栽培や収穫をとおした活動により、17項目の課題のうち9つの課題について推進することができた。

【2】重点目標に対する成果

(1) 子どもの日常生活を丁寧に見て情緒の安定を図り、基本的な生活習慣を体得させる

0歳児については、十分愛着関係を築くことができ、概ね目標が遂行できた。一方、1歳児については、担任の体調不良で欠勤が多くなった中で、対応する保育士がいろいろ変わることで、落ち着きを持続できない子どももいたため、多少対応に苦慮した。

(2) 子どもの主体性・自主性を尊重し、のびのびと行動させる中で個々の成長・発達を支援する

個々を大切にのびのびとした保育活動を遂行することができた。自主性については、自由遊びの際に自らが選択して遊べるよう玩具や教材の設置場所を変更するなど、部屋の環境を整えた。主体性については、各クラスにおける「朝の会」で、子どもたちが主体となって話し合える場を設けた。

(3) 保護者と保育園が協力して子育ての協働を進める

保育時間も長くなり保護者の子育て支援には十分応えられた。また、写真を通して園での様子を配信することで、子どもたちの日常の細かい部分にまで見ていただくことができ、保育園活動に対する理解にもつながった。

(4) 地域交流の場をつくり、親しみのある信頼される保育園を目指す

地域交流の一環として実施している「桜川保育園まつり」では、昨年度同様、近隣の地区長を招いたほか、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変わったことから、小学生の兄弟も自由に参加できるようにしたことで、会場はたくさんの来場者で賑わうなど、園を身近に感じてもらえることに繋がった。

高齢者施設等との交流では、同法人施設である「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者に対し、今年度も「敬老の日」に5歳児から健康長寿の願いを込めたビデオメッセージを送った。また、年度末には、「飛羽ノ園」「憩いの里」の利用者の代表が来園し、同じく5歳児のために作った、数字パズル、メッセージカードを卒園祝いのプレゼントとして手渡してもらうなど、有意義な交流が図れた。

【3】事業実績

1. 保育園の運営及び保育活動

(1) 園児数（単位：人）

月	ゆめ	はな	にじ	ほし	つき	そら	計
4月	8	18	18	18	19	18	99
5月	8	18	18	18	19	18	99
6月	10	18	18	18	19	19	102
7月	10	18	18	18	19	19	102
8月	10	18	18	18	19	19	102
9月	10	18	18	18	19	19	102
10月	10	17	17	17	19	19	99
11月	10	18	18	17	19	19	101
12月	10	18	18	17	19	19	101
1月	11	18	18	17	19	19	103
2月	11	18	18	17	19	19	102
3月	11	18	18	18	19	19	102

(2) 職員数 (単位:人)

月	常勤 保育士	非常勤 保育士	栄養士	看護師	管理員	調理師	調 理 補助員	事務員	その他 常勤職員	その他 非常勤職員	計
4月	16	5	2	1	2	1	2	1	1	3	34
5月	16	5	2	1	2	1	2	1	1	3	34
6月	16	5	2	1	2	1	2	1	1	3	34
7月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
8月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
9月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
10月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
11月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
12月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
1月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
2月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35
3月	16	6	2	1	2	1	2	1	1	3	35

(3) 職員構成 (単位:人)

職名	正規職員		嘱託職員		非常勤職員	
	R5.4	R6.3	R5.4	R6.3	R5.4	R6.3
施設長(園長)	0	0	1	1	0	0
主任保育士	1	1	0	0	0	0
副主任保育士	1	1	0	0	0	0
加配保育士	1	1	0	0	1	1
保育士(クラスリーダー)	7	7	0	0	0	0
保育士	4	4	2	2	4	5
保育補助員	0	0	0	0	2	2
英語講師	0	0	0	0	1	1
看護師	1	1	0	0	0	0
栄養士	1	1	0	0	1	1
調理師	1	1	0	0	0	0
調理員	0	0	0	0	2	2
管理員	1	1	0	0	1	1
事務員	0	0	0	0	1	1
計	18	18	3	3	13	14

(4) 延長保育 (単位:人)

月	30分延長	1時間延長	月	30分延長	1時間延長	30分延長 合計	1時間延長 合計
4月	3	1	10月	13	2	16	3
5月	13	3	11月	13	3	26	6
6月	19	6	12月	18	0	37	6
7月	20	1	1月	21	2	41	3
8月	2	0	2月	24	3	26	3
9月	13	2	3月	24	0	37	2
合 計						183	23

※合計については、延べ人数。

(5) 一時預かり保育 (単位:人)

月	4時間以下	4時間以上	月	4時間以下	4時間以上	4時間以下 合計	4時間以上 合計
4月	0	10	10月	3	33	3	43
5月	4	40	11月	6	44	10	84
6月	1	17	12月	1	47	2	64
7月	5	22	1月	2	42	7	64
8月	1	26	2月	2	66	3	92
9月	1	27	3月	1	64	2	91
合 計						27	438

※合計については、延べ人数。

(6) 保育内容

本園の「運営方針」、「基本理念」、「保育目標」、「重点目標」に沿って、年間、月間、週間計画及びデイリープログラム（日課）を作成し、職員会議やクラス会議等において、その経過観察を行うとともに必要に応じて補正、調整をしながら、子ども達の実情にあった保育活動を計画的に実践した。

2. 保護者支援

(1) 日常における支援

親切で穏やかな日常的なやりとりを心掛け、信頼関係を築くことで、家庭と同じ方向を向き、子どもの育ちを援助することができた。また、毎月「園だより」や「給食だより」を発行し、行事等の予定や活動の様子を伝えた。

(2) 保護者面談・保育参観

随時要望に応じて面談を実施する体制を整備し、子育ての悩みを共有、様々な提案をし、子育て支援ができるように取り組むことができた。

新型コロナウイルス感染対策を徹底し、保護者の人数を制限して保育参観を実施することができた。

(3) 外部機関との連携

発達支援や育児不安などにより専門的な支援が必要な家庭は、外部機関の紹介や連携を積極的に行い、子どもの健全な育ちと、育児に悩む保護者を援助することができた。また、小学校との連携では、新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になったことで、年長児による学校訪問（土浦小学校）を開園後初めて実施し、1年生の授業見学及びゲームを一緒に楽しみながら交流を図ることができた。

(4) 地域支援活動

未就園児の異年齢児交流事業、世代間交流事業など、地域交流事業に取り組み、地域全体でよりよい子育て環境を創るよう活動した。

3. 保健衛生

(1) 園児定期健康診断 令和5年5月29日、11月20日（年2回実施）

(2) 園児定期歯科健診 令和5年5月11日、11月16日（年2回実施）

(3) 職員健康診断 令和6年3月28日（年1回実施）

(4) 職員インフルエンザ予防接種

令和5年11月20日（年1回実施）

(5) 調理員、調乳を行う保育士検便検査

令和5年4月19日、5月18日、6月14日、7月13日、8月9日、9月13日、10月19日、11月14日、12月8日、令和6年1月23日、2月13日、3月11日（年12回実施）

※令和5年10月から令和6年3月までは、ノロウイルス検査を6回実施

(6) 感染症拡大防止対策 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、溶連菌感染症、急性胃腸炎等の感染症拡大防止対策として、保育室やトイレの清掃、玩具や手すり、ドアノブなどの消毒の実施と職員及び園児による手洗い、手指消毒の励行

(7) 園児身体測定

令和5年4月26日、5月15日、6月15日、7月12日、8月9日、9月13日、10月17日、11月15日、12月13日、令和6年1月18日、2月14日、3月13日（年12回実施）

4. 防災安全

月	行事予定
4月	【避難訓練、不審者についての講話】 ・ホールにて、火災避難警報や地震発生時の合図を確認。 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。 ・消火訓練。
5月	【地震】「保育中に中程度の地震発生を想定」 ・保育士の誘導で、机の下などの安全な場所へ避難。 ・防災頭巾の有用性を教えるとともに着用方法等の確認。 ・消火訓練
6月	【火災】「保育園調乳室からの出火を想定」 ・保育士の誘導で、第1避難所へ避難。 ・通報担当者が消防署に通報。 保育士：水消火器にて消火訓練実施。
7月	【水害】「桜川の水位上昇により、警戒レベル3を想定」 ・保育士の指示で帰りの用意をしてホールに集合し、一斉メール配信、退園態勢を確認。 ・消火訓練
8月	【不審者侵入】「正門より不審者侵入を想定」 ・不審者侵入の際の避難方法、合言葉の確認。 ・土浦警察署から講師の派遣してもらい、防犯教室開催。サスマタの使用法。 ・消火訓練
9月	【火災】「中程度の地震後、調理室からの出火を想定」

	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導により、送迎用駐車場へ避難。避難後に煙体験。 ・消火訓練
10月	【地震】「保育中に中度の地震を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の指示で安全な場所に避難。 ・消火訓練
11月	【地震】「土曜日の保育中に中程度の地震発生を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導で、状況に応じた安全な場所への避難。 ・消火訓練
12月	【火災】「乾燥時期に近隣住宅からの出火を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・通報担当者が消防署に通報。 ・保育士の誘導により第1避難所から、第3避難所へ移動。 ・消火訓練
1月	【地震】「保育中に大地震発生を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導で机の下などの安全な場所へ避難。保育士の指示で第1避難所へ移動。 ・阪神淡路大震災の教訓の確認。 ・消火訓練
2月	【地震】「保育中に近隣住宅からの出火を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導で、安全な場所に避難する。 ・消火器の使い方確認。 ・消火訓練
3月	【地震】「保育中に大規模な地震発生を想定」 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士の誘導で、机の下、ロッカーなどの安全な場所へ避難。 ・東日本大震災での教訓の確認。 ・消火器の場所再確認。 ・消火訓練

※避難訓練（年12回）【通報訓練（年2回）と不審者対策（年1回）、消火訓練（年12回）を同時に実施】

5. 給食

給食とおやつは、栄養士の献立に沿って調理士の手作りメニューとし、離乳食は一人ひとりに合わせて進めている。本年度は、1月には全員が完了食になった。

- (1) 1歳児、2歳児 午前おやつ、昼食、午後おやつの提供
- (2) 3歳児～5歳児 昼食、午後おやつの提供
- (3) 延長保育児 補食の提供
- (4) アレルギー児 対象者なし
- (5) 食育活動 栄養士が各クラスを巡回し、子どもたちと一緒に食事をする事で食事の様子を知り、食材の話や食べ方を指導

6. 年間行事

月	日	行事名	内容
4月	4日	入園式 進級式	・ホールにおいて実施
5月	25日	遠足	・霞ヶ浦総合公園（4・5歳児） ・近隣散歩（0・1・2・3歳児）
6月	6日	保育参観（以上児）	・親子ふれ合い遊び・親子制作
	12日	食育教室	【4・5歳児】・食育体験学習（株式会社カスミ）
	24日	桜川保育園	・輪投げ・魚釣り・くじ引き・ヨーヨーすくい ・つかみどり・かき氷・ポップコーン
7月	3日	プール開き	・お清め
	10日	七夕おくり	・七夕笹飾り
	14日	夕涼み会	【5歳児行事】 ・夕食のカレー材料の買い出し・野菜の皮むき・ シャリーチェ作り・スイカ割り・親子で盆踊り
8月		プール遊び	
10月	14日	スポーツ・フェスティバル 2023	・1家族保護者2人まで参加 ・個人走・リレー・遊戯・玉入れ・親子競技
	18日	世界の友達と話そう	・国際理解教室
	26日	親子遠足	【5歳児行事】アクアワールド大洗（親子で参加）
	31日	ハロウィン	・仮装パーティー
11月	10日	保育参観（1・2歳児）	・親子ふれ合い遊び・親子制作
	22日	消防署見学	・土浦消防署（4・5歳児）

	28日	お店屋さんごっこ	・テーマパーク（ディズニー）をテーマに軽食、キャラクターグッズ、レストラン
12月	21日	クリスマス会	・サンタクロースと交流
1月	12日	餅つき	・3・4・5歳児が餅をつき、ならせ餅を作る
2月	1日	節分豆撒き	・豆まき
	10日	生活発表会	・遊戯・劇・発表・歌・合奏・ピアノ力奏
3月	14日	卒園式お別れ会	・発表・プレゼント交換
	22日	卒園式	・卒園児、4歳児、卒園児の保護者2名までで参加とし、在園児による園庭で花道をつくり見送る。

7. 年間会議

会議名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	3	2	3	2	2	2	3	2	3	2	2	3	29
クラス会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
食育会議	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
給食会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
保護者会総会	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
保護者会役員会	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	3
個人面談	随時	随時	随時	随時	随時	随時							

8. 職員育成

職員一人ひとりの専門性を高めるため、園内外の研修を計画的に受講するとともに、研修で得た内容をフィードバックしながら年間計画に反映させるためのスキルアップ研修を実施した。

(1) 保育士等キャリアアップ研修

研修名	開催日	受講者
乳児保育	7月14日～10月13日 (eラーニング)	大塚 愛里
	10月16日～1月12日 (eラーニング)	服部 真由 小田 美希子
幼児教育	7月14日～10月13日 (eラーニング)	伊藤 彩乃
障害児保育	7月14日～10月13日 (eラーニング)	長峰 幸子 古木 雅代
食育・アレルギー対応	7月14日～10月13日 (eラーニング)	結城 雅子 村田 智奈美
保健衛生・安全対策	7月14日～10月13日 (eラーニング)	山田 友香理
	10月16日～1月12日 (eラーニング)	村田 智奈美 小田 美希子
保育者支援、子育て支援	7月14日～10月13日 (eラーニング)	酒井 真実 村田 智亜紀 山本 こずえ

(2) 保育技術専門研修

テーマ	開催日	受講者
子どもを重大事故から守るために	4月22日	宇都野 和司 小田 美希子 山田 友香理 結城 雅子
ハラスメントの理解と適切な指導法 (オンライン)	5月 8日	長峰 幸子 小田 美希子
ICTシステムの安全な活用 (オンライン)	6月15日	長峰 幸子
台風・ゲリラ豪雨の「もしも」の備え (オンライン)	6月29日	宇都野 和司
心理学で円滑に！園内コミュニケーション (オンライン)	7月13日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子
施設内でのトラブル防止と発生時の3つの対応 (オンライン)	7月16日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子
特別支援教育の視点から考える保幼小の連携・接続	7月19日	村田 智亜紀
チームで実践する「子ども中心の保育」 (オンライン)	7月20日	宇都野 和司

		長峰 幸子 小田 美希子
保育におけるICT活用（オンライン）	7月27日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子
保育所における感染症対策（基礎知識）	8月 2日	山畑 優花里
保育者の専門性を高める働きやすい職場づくり（オンライン）	8月 3日	宇都野 和司 長峰 幸子
就学前教育と小学校教育における家庭との連携及び保護者支援	8月 4日	長峰 幸子
保育所等における安全計画の立て方（オンライン）	8月10日	宇都野 和司
子どもの人権	8月12日	小田 美希子 山田 友香理
一人一人の発達特性に応じた園内支援体制と環境づくり（オンライン）	9月 7日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子 山田 友香理
子どもの安全を確保する（オンライン）	9月14日	宇都野 和司 長峰 幸子
女性でもできる不審者への対応実践（オンライン）	10月 5日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子
乳幼児期の心が健やかに育つ援助（オンライン）	10月12日	宇都野 和司 長峰 幸子 小田 美希子
接続カリキュラムの実践・改善にむけて（オンライン）	10月20日	村田 智亜紀
保育所における感染症対策（嘔吐処理演習）	10月26日	山畑 優花里

(3) 祥風会研修

テーマ	開催日	受講者
新入職員研修	4月19日	小菅 里緒 井佐 彩美 サイドシュロヴァ ライホン

(4) 内部研修(スキルアップ)

テーマ	開催日	受講者
園外保育の配慮事項	5月19日	保育士全員
SDGs園でできる取り組みについて	6月 2日	保育士全員
温かいまなざしでみんなが幸せになれる保育（オンライン）	12月11日～25日	全職員

(5) OJT (On The Job Training)

- ・随時開催